

第2次
岩国市
スポーツ
推進計画

IWAKUNI's
Master Plan for Sports Promotion

『スポーツでいわくにを元気に！』をめざして



岩国市では、平成25年に「岩国市スポーツ推進計画」を策定し、これまで“スポーツでいわくにを元気に!”を基本理念に、「生涯スポーツの推進」、「スポーツ施設の整備」を基本施策とし、スポーツを通じて活力(元気)のある人づくり、まちづくりに取り組んでまいりました。

特に令和3年7月に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、岩国市にゆかりのある選手が4名出場され、フェンシング競技の加納虹輝^{かのうこうき}選手が男子エペ団体で金メダルを獲得されるなど、多くの市民の皆様に大きな夢と感動を与えてくださいました。

また、アメリカ合衆国のホストタウンとして、平成30年7月に完成した愛宕スポーツコンプレックスにおいて、ソフトボール競技とフェンシング競技女子エペチームの事前キャンプを実施し、多くの市民との交流が実現するとともに、そのレガシーとして「スポーツ合宿誘致推進事業」を立ち上げ、トップアスリートの合宿誘致に取り組むなど、スポーツツーリズムを推進しています。

こうした中、本市では、『すべての市民一人ひとりがその目的やライフステージに応じて、いつでも・どこでも・誰もが・いつまでも、気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支えることができる「生涯スポーツ社会」の実現に努める』という基本方針のもと、スポーツを「する人」だけではなく、スポーツを「みる人」、そしてスポーツを「ささえる人」にも着目し、市民が生涯にわたってスポーツに関わることができる環境の整備を促進し、本市のスポーツの推進に関する諸施策を計画的・効果的に実施するため、この度「第2次岩国市スポーツ推進計画」を策定します。

本計画は、国の「第3期スポーツ基本計画」及び「やまぐちスポーツ推進プラン2022」を参酌し、加えて「第3次岩国市総合計画」及び「岩国市教育基本計画」との整合性を図りながら策定しました。本計画に基づき、スポーツを通じて活力(元気)のある人づくり、まちづくりに全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様の一層の御参画と御協力をお願いいたします。

令和5年3月

岩国市長 福田良彦

目 次

第1章 計画の見直しにあたって	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画の期間	2
第2章 市民のスポーツを取り巻く現状と環境の変化	2
1 人口の推移	2
2 小中学生の体力・運動能力の現状	3
3 岩国市のスポーツ環境の変化	4
4 スポーツに関する現状	5
5 スポーツに対する実態と今後の課題	6
第3章 計画の基本的な考え方	8
1 基本理念	8
2 基本目標	8
3 基本方針と施策体系	8
第4章 具体的な施策の展開	10
I 生涯スポーツの推進	10
(1) 健康・体力づくりの推進	10
(2) 子供の体力の向上及び運動習慣の定着	11
(3) 総合型地域スポーツクラブの育成及びレクリエーション団体への支援	11
(4) 競技スポーツ団体への支援	12
(5) 障害者スポーツの推進	12
II スポーツ環境の整備	13
(1) スポーツ施設の活用促進	13
(2) スポーツ指導者等の充実	13
(3) 優秀選手・団体の顕彰	14
(4) オリンピック等のレガシーの継承・発展	14
第5章 推進体制	15
1 庁内関連部局との連携強化	15
2 スポーツ団体・企業・市民との連携・協力	15
参考	16



第1章 計画の見直しにあたって

1 計画策定の趣旨

本市においては、平成24年度にスポーツ推進の指針となる基本理念や基本施策を定めた「岩国市スポーツ推進計画」を策定し、“スポーツでいわくにを元気に!”を基本理念にスポーツを通じて活力(元気)のある人づくり、まちづくりに取り組んできました。

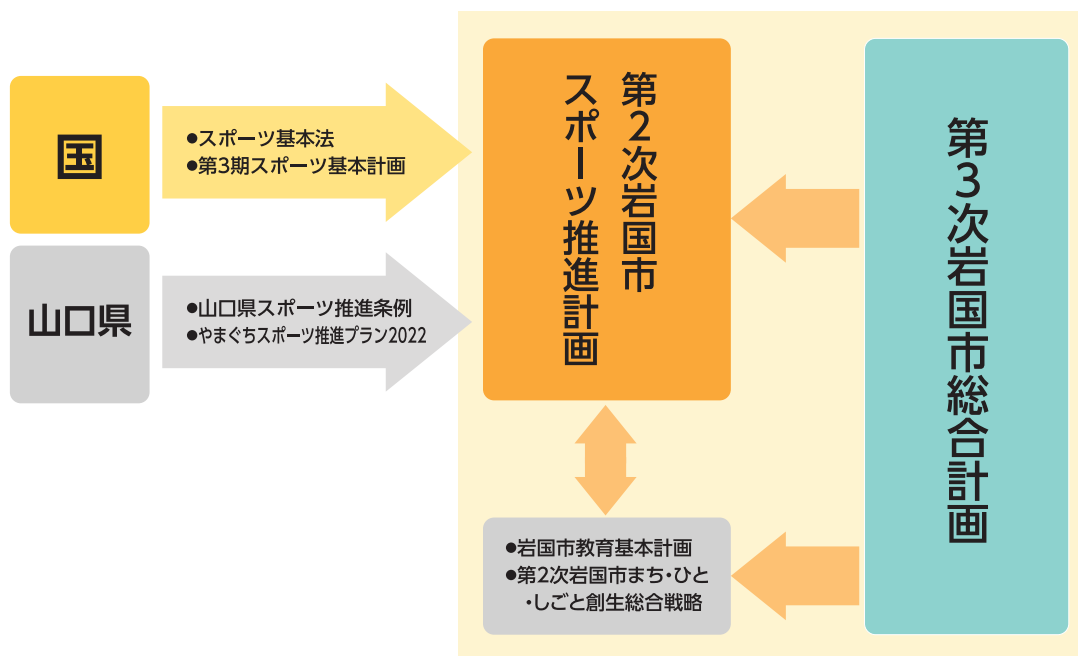
一方、国においては、平成27年10月に、スポーツに関する施策を総合的に推進することを目的に、文部科学省の外局としてスポーツ庁が設置されました。また「スポーツ基本計画」についても、平成29年度に策定された第2期計画に続き、令和4年3月には新たな指針となる「第3期スポーツ基本計画」が策定されました。

これを受け、県においても、「山口県スポーツ推進計画」の見直しが行われ、令和5年3月には、「やまぐちスポーツ推進プラン2022」が策定されました。

こうしたスポーツをとりまく環境が変化している中、今後の本市におけるスポーツの推進を効果的に進めていくため、前計画の基本的な考え方を継承したうえで、現状の課題の分析や、それを踏まえた展開すべき施策を明示した「第2次岩国市スポーツ推進計画」を策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法第10条」に基づく地方スポーツ推進計画として位置づけ、国及び山口県が策定する計画の内容を参酌し、「岩国市総合計画」の基本目標との整合性を図りながら、本市の実情を踏まえた目標や方針、具体的な取組について示します。



3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間とします。

なお、計画期間中であっても、新たに取り組むべき事項や社会情勢の変化などで計画の見直しが必要な事項等が生じた場合には、必要に応じて見直すこととします。



第2章 市民のスポーツを取り巻く現状と環境の変化

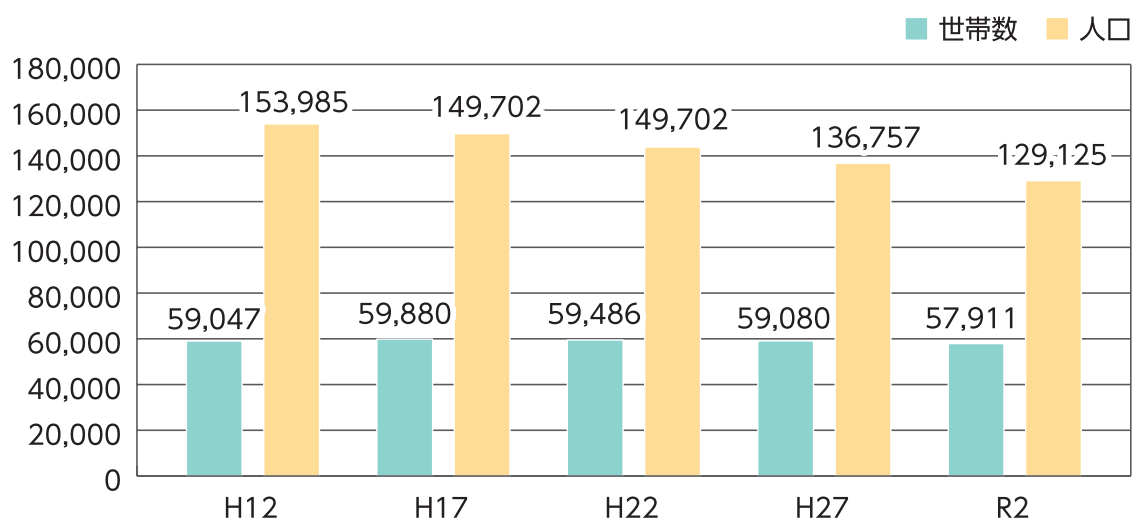
1 人口の推移

本市の人口は、平成12年度に実施した国勢調査で15万3,985人でしたが、令和2年度には12万9,125人にまで減少しています。

また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和14年に11万540人、令和52年には5万5,600人に減少するとされています。

このような本市の傾向から、今後、スポーツ人口の減少や、指導者やボランティアの高齢化など活力の低下が懸念されます。

▼人口及び世帯数の推移(資料:国勢調査)



▼岩国市の高齢化率(資料:国勢調査)※R4.4.1時点 外国人含む

65歳以上人口	高齢化率	3歳未満児人口	令和2年国勢調査の数値		
			65歳以上の割合		
			市	県	国
46,610	36.1%	2,374	36.0%	34.6%	28.6%

2 小中学生の体力・運動能力の現状

文部科学省が行っている「体力・運動能力調査」によると、昭和60年頃から現在まで子供の体力は、低下傾向にあります。

本市においても、スポーツをする子供・しない子供の二極化傾向が問題視されている中、子供の総合的な体力(体力合計点)は、全国平均と比較すると全体的にやや下回っています。

一方で、ソフトボール・ハンドボール投げについては、全ての対象で全国及び県平均を上回っています。

■ 小学生の体力(小学校5年生) 県・全国比較

種目	男子					女子				
	本市	山口県		全国		本市	山口県		全国	
握力	15.41	15.51	▼	16.22	▼	14.88	15.31	▼	16.09	▼
上体おこし	17.86	18.1	▼	18.9	▼	16.49	17.47	▼	18.08	▼
長座体前屈	32.08	31.59	△	33.48	▼	36.92	35.84	△	37.9	▼
反復横跳び	39.95	39.89	△	40.35	▼	38.35	38.4	▼	38.72	▼
シャトルラン	47.08	49.26	▼	46.83	△	39.32	41.09	▼	38.15	△
50m走	9.58	9.52	▼	9.45	▼	9.71	9.71	=	9.64	▼
立ち幅跳び	150.91	149.6	△	151.4	▼	144.37	143.3	△	145.18	▼
ソフトボール投げ	21.48	20.21	△	20.58	△	13.32	12.91	△	13.3	△
体力合計点	51.6	51.25	△	52.52	▼	53.12	53.48	▼	54.64	▼
身長	138.61	138.4	△	139.3	▼	140.1	139.9	△	140.9	▼
体重	34.78	34.19	△	35.08	▼	34.44	34.22	△	34.9	▼

■ 中学生の体力(中学校2年生) 県・全国比較

種目	男子					女子				
	本市	山口県		全国		本市	山口県		全国	
握力	28.33	27.65	△	28.8	▼	23.33	22.82	△	23.43	▼
上体おこし	26.17	25.5	△	25.99	△	22.59	22.07	△	22.32	△
長座体前屈	40.91	41.9	▼	43.67	▼	43.24	44.53	▼	46.2	▼
反復横跳び	50.98	52.07	▼	51.19	▼	45.99	46.7	▼	46.25	▼
持久走	400.11	401.4	△	406.4	△	295.59	294.5	▼	297.62	△
シャトルラン	85.04	84.06	△	79.88	△	56.8	57.62	▼	54.24	△
50m走	8.02	8.01	▼	8.01	▼	8.93	8.85	▼	8.88	▼
立ち幅跳び	192.56	193.3	▼	196.4	▼	161.76	166.4	▼	168.15	▼
ハンドボール投げ	20.59	19.71	△	20.31	△	12.87	12.37	△	12.72	△
体力合計点	40.86	40.6	△	41.18	▼	47.44	48.2	▼	48.56	▼
身長	160.08	159.5	△	160.6	▼	154.26	154.2	△	154.9	▼
体重	49.94	48.72	△	49.7	△	48.07	47.06	△	47.01	△

3 岩国市のスポーツ環境の変化

愛宕地区においては、国が本市の要望を踏まえつつ、日米の友好親善を目的に市民が共同使用できる運動施設として、「愛宕スポーツコンプレックス」を整備し、野球場やソフトボール場がある野球場エリアが平成29年11月に供用開始されました。

その後、陸上競技場や屋内施設のロータスカルチャーセンターなどがある陸上競技場エリアが平成30年7月に供用開始されました。

このことにより、日米の高校生による友好親善の野球大会、広島東洋カープ二軍春季キャンプ、日米親善リレーマラソン、日米大学野球など、多様なスポーツイベントが実施されています。

また、令和3年に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催された際、本市ではアメリカの女子ソフトボールチーム及びフェンシングチームの事前合宿を愛宕スポーツコンプレックスで実施しました。

これらのレガシーとして、令和3年度からスポーツ合宿等誘致推進事業を開始し、スポーツ資源を活用した交流人口の拡大等による地域活性化に努めています。

一方、市内のスポーツ施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和3年度は、令和元年度と比べ126,704人減少しています。

施設のジャンル別利用者数についても、プールや陸上競技場が若干数増加したものの、その他の施設では減少している状況です。

■ スポーツ施設の利用状況

利用者数(人)			
R1	R3	増減	
688,344	561,640	-126,704	▼

■ ジャンル別施設の利用状況

No.	ジャンル別	利用者数(人)			
		R1	R3	増減	
1	体育館など屋内施設	312,484	259,556	-52,928	▼
2	野球場・ソフトボール場	35,248	29,059	-6,189	▼
3	グラウンド	99,828	75,788	-24,040	▼
4	運動広場	78,788	65,158	-13,630	▼
5	プール	7,172	7,313	141	△
6	陸上競技場	25,028	25,545	517	△
7	テニスコート	81,060	67,466	-13,594	▼
8	その他	48,736	31,755	-16,981	▼

4 スポーツに関する現状

本市は、「第3次岩国市総合計画」の基本目標として“豊かな心を育む教育文化のまち”を掲げ、“誰もが生涯学習、スポーツに親しめる環境が整備されている”ことを施策目標とし、“全ての市民一人ひとりがライフステージに応じて、「いつでも・どこでも・誰もが・いつまでも」気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支えることができる「生涯スポーツ社会」の実現に努める”こととしています。

また、「岩国市教育基本計画」においても、スポーツ環境の整備・充実やスポーツ活動の推進の施策を掲げています。

■【参考】第3次岩国市総合計画 達成度を測る指標

項目	基準値 2021 (令和3)年度	中間目標値 2024 (令和6)年度	前期目標値 2027 (令和9)年度
スポーツ教室の年間参加者数	16,209人	19,800人	23,400人
スポーツ施設の利用者数	561,640人	594,600人	627,600人
総合型地域スポーツクラブの設立数	7団体	8団体	8団体

現状のスポーツ・レクリエーション活動としては、既存の各団体をはじめ、スポーツ推進委員やスポーツボランティア等多くの協力のもと、市民健康スポーツのつどいや、錦帯橋ロードレース大会、IWAKUNI絆EKIDEN大会などを開催し、スポーツを通じたコミュニケーションの活性化や地域づくり等を進めています。

(一財)岩国市体育協会や岩国市レクリエーション連盟では、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成を目指し、加盟団体と連携し年間を通して各種大会や行事、教室などを開催しています。また、各総合型地域スポーツクラブでも、各クラブが理念を掲げ、地域課題の解決も視野に入れ、地域住民が主体となってスポーツ活動等に取り組んでいます。

さらに、市内小・中学校における学校体育施設開放事業では、約300団体が41の施設を積極的に利活用しており、年間延べ人数で13万人以上の利用実績があります。

そのほかにも、市内の公共施設(公民館・供用会館・社会福祉施設など)を活用した生涯スポーツ・レクリエーション活動等が幅広く行われています。



事前合宿(アメリカ女子ソフトボールチーム)



愛宕スポーツコンプレックス

5 スポーツに対する実態と今後の課題

本計画の見直しにあたり、市民のスポーツ活動に関する現状と実態を把握するためにアンケート調査を実施しました。

【一般(20歳～80歳)】

◎ 週1回以上、スポーツ等を実施する人の割合 → **41%** (平成23年度 41%)

もっとも多かった回答 実施種目 「ウォーキング」
実施形態 「個人で自由に活動」
実施理由 「健康づくりのため」

参考：令和3年度山口県民の週1回以上のスポーツ実施率 38.4%
(出典 やまぐちスポーツ推進プラン2022)

◎ スポーツ等を実施していない人の割合 → **59%** (平成23年度 59%)

実施していない理由 ・ 「仕事が忙しい」 ・ 「積極的になれない」
・ 「疲れている」 ・ 「きっかけがない」
・ 「体力に自信がない」

実施していない理由が解決すれば実施したい → 71% (平成23年度 74%)
「みる」スポーツへの関心 → 67% (平成23年度 74%)

◎ 実施スポーツ活動への満足度 → **74%** (平成23年度 68%)

満足していない理由 ・ 「施設が少ない」 ・ 「時間がない」
・ 「設備が不十分」 ・ 「料金が高い」
・ 「施設まで遠い」

◎ 施設に対する希望

- ・ 「料金の引き下げ」
- ・ 「初心者向けスポーツ教室の充実」
- ・ 「利用時間の拡大」

◎ スポーツ施策に対する希望

- ・ 「健康維持や交流の場づくり」
- ・ 「子供たちの体力向上、健全育成、居場所づくり」
- ・ 「介護予防、寝たきり防止」

【小・中学生】

◎ 週1回以上、スポーツ等を実施する人の割合（体育の授業を除く）

小学生 → **76%** 男子 **82%** 女子 **71%**
(平成23年度 81% 男子87% 女子75%)

中学生 → **79%** 男子 **86%** 女子 **72%**
(平成23年度 83% 男子94% 女子71%)

▶ アンケートからみえてくる課題

- 1** スポーツ等を実施している人の状況をみると、ウォーキングやジョギング、マラソン、ゴルフ等、個人で自由に実施できる種目をするという傾向があります。

【課題】 ・ 市民の高い健康志向を活かした施策
・ 個人で自由に活動する人同士のつながりづくり

- 2** スポーツ等を実施していない人の状況をみると、時間的・精神的なことが要因でスポーツ等を実施するきっかけが乏しく、また、就労者のスポーツ等実施率が低い傾向があります。

【課題】 ・ 積極的な情報発信や広報活動
・ 働く世代・子育て世代へのスポーツの啓発
・ 指導者の育成
・ 指導者派遣システムの構築
・ 学校施設の利活用の促進
・ 事業所や企業へのはたらきかけ
・ 土日や休日及び平日夜間のスポーツ活動の推進

- 3** 満足度は74%ですが、満足していない人の理由をみると、施設に対する要望が多い傾向があります。

【課題】 ・ 施設の維持管理と環境整備
・ 設備の充実

- 4** スポーツ少年団や運動部活動に所属し積極的にスポーツ等を実施している児童・生徒と、「家で遊ぶほうが好き」「特に理由はない」「やる気がしない」といった理由でほとんどスポーツ等を実施していない児童・生徒に大きく分かれる傾向があります。また、塾や習い事等で忙しく時間的な余裕がないことや、練習内容や指導者の指導方法・指導内容などを不満の理由にしている回答もあります。

【課題】 ・ 子供のスポーツ等実施状況の二極化対策
・ 多様なニーズに応える指導体制



第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

スポーツが、心身の健康の保持増進はもとより、青少年の健全育成や、地域社会の活性化等、生活において多面にわたる役割を担っていることを踏まえ、全ての市民一人ひとりがライフステージに応じて、「いつでも・どこでも・誰もが・いつまでも」気軽にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支えることができる「生涯スポーツ社会」を実現することを目指します。

また、生涯スポーツを広め推進するため、市民の自主的な参加の呼び掛けを行うとともに、指導者の育成や団体の育成・強化等の取組を進め、スポーツを通じて活力(元気)のある人づくり・まちづくりを目指します。

スポーツで いわくにを 元気に!

2 基本目標

スポーツ実施率の向上

週1回以上、スポーツ等を行う人(20歳～80歳)の割合

令和9年度までに 60%以上 を目指します。

令和4年度現状値 41% (前計画調査時 平成23年度 41%)

3 基本方針と施策体系

スポーツの果たす役割を踏まえ、スポーツを通じてすべての市民が幸福で豊かな生活を営むことができるように、本計画においては、「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、興味・関心及び適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」、そして「スポーツを通じて人が育ち地域が活性化することで、元気で明るい岩国市をつくること」を基本的な考えとしつつ、第2章5において示した課題の解決を目指したスポーツ推進施策を展開していきます。

その際、スポーツを実際に「する人」だけでなく、スポーツ観戦等でスポーツを「みる人」、そして、指導者やスポーツボランティアといった「ささえる(育てる)人」にも着目し、人々が生涯にわたってスポーツに関わることができる環境づくりを推進します。

スポーツで いわくにを 元気に!

庁内関連部局との連携強化

スポーツ団体・企業・市民との
連携と協力

週1回以上スポーツを行う人(20歳～80歳)の割合 **60%以上**

I 生涯スポーツの推進

- (1) 健康・体力づくりの推進
- (2) 子供の体力の向上及び運動習慣の定着
- (3) 総合型地域スポーツクラブの育成及びレクリエーション団体への支援
- (4) 競技スポーツ団体への支援
- (5) 障害者スポーツの推進

II スポーツ環境の整備

- (1) スポーツ施設の活用促進
- (2) スポーツ指導者等の充実
- (3) 優秀選手・団体の顕彰
- (4) オリンピック等のレガシーの継承・発展

基本的な考え方

人々が生涯にわたってスポーツに関わることができる環境づくり
人が育ち地域が活性化し元気で明るい岩国市



するスポーツ

- スポーツ活動ができる環境づくり
- スポーツ、レクリエーション教室や大会の情報提供など



みるスポーツ

- 感動や憧れなどスポーツをする動機付けと交流人口の拡大につながる大会やイベントの開催など



ささえるスポーツ

- スポーツ団体の活動支援
- 指導者の育成・派遣
- スポーツボランティアによる支援



第4章 具体的な施策の展開

I 生涯スポーツの推進

スポーツ活動は、健康の保持増進、体力づくりや地域社会の連帯感を育てるためにも大きな役割を担っています。スポーツを通じて市民が世代をこえてふれあいを深めていくことは、コミュニケーション能力や思いやりの心、多様な価値観を認め合う気持ちなどを育み、青少年の健全育成に寄与することにつながります。

そのために、「いつでも・どこでも・誰もが・いつまでも」気軽にスポーツに関わることができるよう、各種団体の育成や地域住民のニーズに応える支援を促進します。

(1) 健康・体力づくりの推進

市民が個々の体力や運動機能に応じて、自らが健康・体力づくりを行い、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、スポーツ・レクリエーション活動を生活習慣として定着させる取組を推進します。

また、高齢者がいつまでも健康で自立した生活を継続することができるよう高齢者のスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

さらに、時間がないなどの理由により、スポーツ実施率が低い働く世代や子育て世代などがライフステージに応じて気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を創出するなど、運動習慣のない市民のきっかけとなる取組を推進します。

- スポーツへの参加を促進するため、気軽にできる運動の啓発や、各種スポーツ教室の充実に努めます。
- 各種団体と連携し、ライフステージに応じた、さまざまなスポーツ・レクリエーション活動に参加できる機会を広く提供し、生きがい・健康づくりに努めます。
- 錦帯橋ロードレース大会をはじめ、市民健康スポーツのつどい、日米親善リレーマラソン、IWAKUNI絆EKIDENなど、スポーツイベントの充実に努めます。



錦帯橋ロードレース大会



市民健康スポーツのつどい(スポレクフェスタ)

(2) 子供の体力の向上及び運動習慣の定着

子供は、スポーツの楽しさや喜びを体験することにより、体力や運動能力が向上するとともに、仲間とのふれあいを通して豊かな社会性や人間性が養われます。

そのため、保護者の協力を得ながら、子供たちの体力向上に努めます。

また、スポーツを習慣化させるには、子供のころからスポーツを楽しむことが重要であることを踏まえ、スポーツ実施機会の拡充に努めます。

- 指導者の資質の向上に努めるとともに、積極的にスポーツを行わない子供や、運動の苦手な子供でも楽しむことができるようなレクリエーションスポーツの体験教室等を開催し、スポーツ実施機会の拡充に努めます。
- 「競技志向」「レクリエーション志向」など、子供が自分のニーズに応じてスポーツを選択できるよう、各スポーツ団体に活動機会の提供(教室開催等)について働きかけます。
- 子供の体力向上を図るため、脳科学的な視点からアプローチする脳幹・体幹トレーニングを取り入れ、総合的な基礎体力づくりを進めます。

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成及びレクリエーション団体への支援

日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして、総合型地域スポーツクラブの設立の促進及びレクリエーション団体の支援に努めます。

これらのクラブや団体の活動は、地域コミュニティの醸成や活力あるまちづくりにつながることから、岩国市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を設置し、(公財)山口県体育協会と連携しながら、既存のクラブはもとより創設を目指す団体に多面的な支援を行います。

また、生涯にわたりスポーツ・レクリエーション活動が行われるよう、岩国市レクリエーション連盟の活動も積極的に支援し、各種教室等の充実を図るとともに、スポーツ・レクリエーションを通じた生きがいをづくりを推進します。

- 市民のニーズに応えるスポーツ組織等の拡充を図るとともに、総合型地域スポーツクラブ及びレクリエーション団体等の市民への周知、啓発活動に努めます。
- クラブ育成に関する情報を、各クラブ及びクラブ創設を目指す団体に提供するとともに、県のコーディネーターと連携してクラブ育成に必要な人材育成、関係団体との連携促進、巡回支援等に取り組めます。



SOMPOボールゲームフェスタ



親子元気アップ教室

(4) 競技スポーツ団体への支援

本市出身の選手やチームの全国大会・国体での活躍、国際大会への参加出場は、市民にとって誇りであり、スポーツへの関心・意欲を高めることにつながります。

競技力の向上のため、(一財)岩国市体育協会加盟団体をはじめ各競技団体が行う講習会・強化事業等を支援します。

さらに、日本体育大学連携事業や、スポーツ合宿等誘致推進事業によるトップアスリートからの指導機会の確保についても、スポーツ関係団体と連携しながら積極的に取り組みます。

- 学生・実業団等のトップチームやトッププレーヤーを招聘し、強化試合による地元チームの強化を図ります。また、ハイレベルなプレーを「みる」機会の充実に努めます。
- 外部指導者を招いて研修会や講演会を開催し、競技力や指導力の向上を図ります。
- 国内外からのスポーツ合宿を誘致することで、スポーツ交流人口の拡大による地域の活性化を図ります。



日本体育大学連携事業



スポーツ合宿等誘致推進事業

(5) 障害者スポーツの推進

障害のある人がスポーツ・レクリエーション活動へ参加することは、自身の健康増進や個性と能力の発揮につながり、自立や社会参加促進の機会にもなります。

また、障害のある人となない人が共に参加することで交流を深めたり、パラリンピックやデフリンピック(4年に一度開催される、聴覚障害者の国際スポーツ大会)等の国際大会で活躍する姿を目にする機会が増えることは、障害のある人への共感、理解の促進にもつながります。

障害者スポーツの推進にあたっては、障害の種類や程度が様々であることや、障害のある人のスポーツに対する関わり方も多様であることを理解し、障害のある人もない人も気軽に・共に障害者スポーツ等の活動に参加するための「裾野拡大の取組」と、競技性の向上を踏まえた「障害者アスリート支援の取組」が必要となります。

- 障害者スポーツ・レクリエーションイベントの開催・支援や、障害者スポーツ団体の活動等に関する情報提供を行います。また、「キラリンピック(山口県障害者スポーツ大会)」への参加を支援します。
- 関係機関と連携して、パラリンピックやデフリンピック等の国際大会への出場を目指す障害者アスリートの支援に努めます。

Ⅱ スポーツ環境の整備

スポーツ推進のためには、「誰でも」気軽にスポーツに親しむことのできる施設の充実が不可欠であり、本市が有する多くのスポーツ施設を適切に維持管理することは、市民の利活用促進につながります。

また、施設の活用だけでなく、指導者等スタッフの充実や、優秀選手・団体の顕彰、国体開催や世界大会等の事前合宿の受け入れにおけるスポーツ資源の有効活用なども、スポーツ推進のための環境づくりとして重要な要素といえます。

(1) スポーツ施設の活用促進

スポーツ施設や地域の特性等を踏まえながら、市民のスポーツニーズに適切に応えることができるよう、設備の充実等を図るなど、スポーツを「する・みる・ささえる」立場から利用しやすい環境整備を行い、施設の利用促進を図ります。

また、多くの市民が集まり、市民が主体となる活動が実施できるよう、スポーツ・レクリエーションに係る環境整備に努めます。

さらに、学校体育施設はもとより地域のスポーツ施設の有効活用と民間企業のスポーツ施設の開放も呼びかけることにより、身近な場所でスポーツに取り組むことができるよう努めます。

- 「岩国市スポーツ施設整備基本構想」(令和2年3月改訂)に基づき、計画的に老朽化した施設の維持管理や整備を行います。
- 令和10年度の供用開始を目指し、多目的に利用できる県東部地域県立武道館(仮称)の整備を、県と協力して計画的に進めます。
- 学校体育施設を含む公共施設を積極的に開放することで、地域住民の多様なスポーツニーズに幅広く対応するよう努めます。
- インターネットによる施設の利用申込みや、キャッシュレス決済の導入等、公共施設の利便性の向上を図ります。

(2) スポーツ指導者等の充実

近年、各種スポーツにおけるニーズの多様化・高度化などに伴い、スポーツ推進委員をはじめとするスポーツ指導者等の養成・確保の必要性が高まっています。

このため、生涯スポーツについては、障害者スポーツを含めた様々な種目の指導者などを、競技スポーツについては、科学的なトレーニング指導を行うことができる専門的な指導者を養成・確保することが求められています。

また、「ささえる」スポーツの基盤として、スポーツボランティアの存在は欠かせないため、研修機会の充実や活動体制の整備により、スポーツボランティアの育成を推進します。

- 中学校の部活動改革に伴う多様なスポーツニーズに応えるため、指導者の講習会や、研修会への参加を促進するなど、より質の高い資質をもった指導者の養成に努めます。
- スポーツ推進委員の資質をさらに向上させるとともに、スポーツ推進委員は地域のコーディネーターとして各種スポーツ団体と密接に連携・協力しながら、主体的に市民のスポーツ推進にあたるように努めます。

(3) 優秀選手・団体の顕彰

スポーツの推進に尽力された方々に対する顕彰制度は、その功績を永く讃えるだけでなく、スポーツの文化的価値を高める上でも重要です。また、その実績により市民のスポーツに対する関心やスポーツを行う意欲を高める効果も期待できます。

そのため、スポーツの普及発展に貢献した方々や優秀な成績をあげた選手・団体に対する表彰を行います。

また、各種競技の全国大会等出場者への補助金の交付や国民体育大会等に出場する選手に対する激励会の開催などの取組を行います。

- 優勝等報告会や激励会等を(一財)岩国市体育協会と連携して開催し、その内容を報道機関等への情報提供や、ホームページを活用し市民に受賞者を紹介するなど、顕彰制度の幅広い周知を図ります。
- 優秀な選手や指導者等を表彰し、功績を讃えることで、スポーツの価値を高めるとともに選手の競技に対する取組意識の更なる向上に努めます。
- 全国大会以上の大会及び山口県体育大会に出場する選手等に対し、補助金を交付することにより、競技者の技術の向上を目指すとともに、市民のスポーツの振興を図ります。

(4) オリンピック等のレガシーの継承・発展

トップアスリートによるハイレベルな競技は、市民に夢と感動を与え、スポーツへの関心を高め、競技者の向上心へとつながります。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に生まれたトップアスリート等との交流を継続し、スポーツ活動への参加機運の醸成を図ります。

また、第66回国民体育大会(おいでませ!山口国体)において地元開催した競技種目を「我がまちスポーツ」として定着させ、スポーツ関係団体と連携しながら地域が一体となったまちづくりの推進に努めます。

- 国内外からのスポーツ合宿の誘致により、スポーツ交流人口の拡大による地域の活性化を図ります。
- 施設及び設備を活用した全国規模の大会開催・誘致や、地元オリンピックによる交流会やスポーツ教室の開催、トップアスリートの招聘などを関係団体と連携しながら開催します。
- スポーツイベントの開催や、スポーツと観光を組み合わせたスポーツツーリズムに取り組めます。



岩国市スポーツ功労賞等表彰式



オリンピックによるドリーム教室



第5章 推進体制

1 庁内関連部局との連携強化

スポーツ推進に係る施策の総合的かつ計画的な推進に向け、庁内関連部局がそれぞれの役割を踏まえ、連携・協働しながら、着実に推進することとします。

《 連携部署と協働事項 》

- こども家庭課・学校教育課…………… 子供の体力の向上及び運動習慣の定着
- 健康推進課・高齢者支援課 …………… 健康・体力づくりの推進
- 障害者支援課 …………… 障害者スポーツの推進
- 公園施設課・教育政策課・生涯学習課 …… スポーツ施設の活用促進
- 観光振興課 …………… スポーツツーリズムの取組

2 スポーツ団体・企業・市民との連携・協力

本市の特色を活かしたスポーツによるまちづくりを推進するためには、既存のスポーツ団体間の連携は欠かせません。

また、市民との協働体制を築くためには、スポーツイベントに対して市民が受け手(参加者)でいるばかりでなく、支える側として積極的に関わることができる環境も必要です。

そのため、既存のスポーツ団体、企業、関係機関等、スポーツに関連する機関と連携し、スポーツボランティアなどのスポーツにかかわる人材の育成や確保を図ります。

一方、企業が独自の財源を活かし、トップスポーツの観点からスポーツ推進に取り組むことは、本市の競技力の向上に大いに寄与するだけでなく、市民に夢と感動を与え、市全体の活力の醸成につながります。

そのため、企業と連携して人材の交流や施設の開放等、スポーツを通じた地域貢献活動の実施に努めます。



参 考

「スポーツ・レクリエーション活動や運動に関する市民アンケート」集計結果

1 アンケート調査の概要

本市のスポーツ振興の基本理念や目標を明確にし、本市の特色を生かしたスポーツ振興施策を推進するために、市民の日常生活におけるスポーツ・レクリエーション活動や運動の実態について、アンケート調査を実施しました。

(1) アンケート実施概要

- (ア) 調査地域 岩国市全域
- (イ) 調査対象者 20歳から80歳までの市民
- (ウ) 送付件数 2,500人
- (エ) 抽出方法 無作為抽出
- (オ) 調査期間 令和4年5月1日から6月30日
- (カ) 回収方法 返信用封筒による回収(郵送)

全体に対する割合を算出する際、少数点以下を四捨五入しているため、個々のパーセント値を合計しても調度100%にならない場合があります。

(2) 実施状況

- (ア) 配布件数 2,500件
- (イ) 回収件数 1,004件
- (ウ) 回収率 40.2%

(3) 回答者の状況

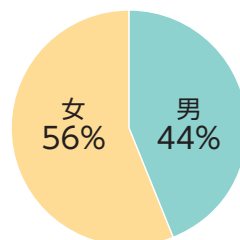
(ア) 男女別件数：回答数1,003

【表1-1】男女別回答件数

男女別	人数
男	445
女	558
合計	1003

(不確定回答数 1)

【図1-1】男女別割合



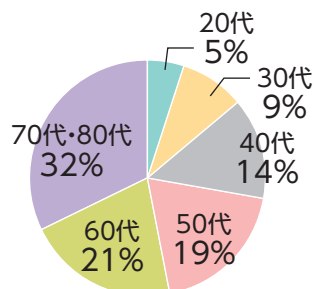
(イ) 年代別件数：回答数993

【表1-2】年代別回答件数

年代別(歳)	人数
20代	52
30代	89
40代	141
50代	187
60代	211
70代・80歳	313

(不確定回答数 11)

【図1-2】年代別割合



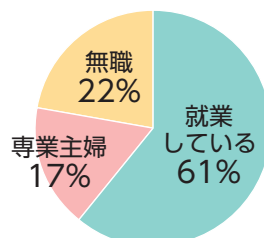
(ウ) 就業状況別件数：回答数982

【表1-3】就業状況別回答件数

就業状況	人数
就業している	598
専業主婦	171
無職	213

(不確定回答数 22)

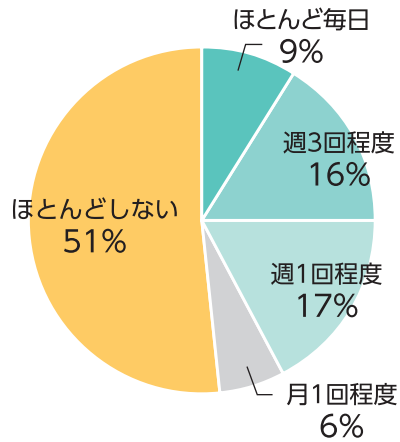
【図1-3】就業状況別割合



2 アンケート調査の結果内容

就業者の状況

【図2-1】就業者のスポーツ等実施状況

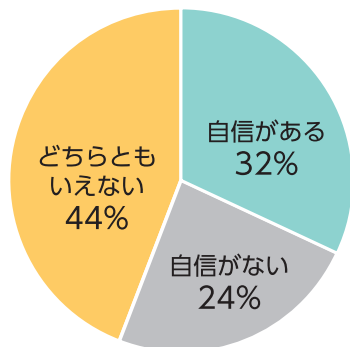


就業者のスポーツ実施状況は、48%を占めている。

健康に対する意識

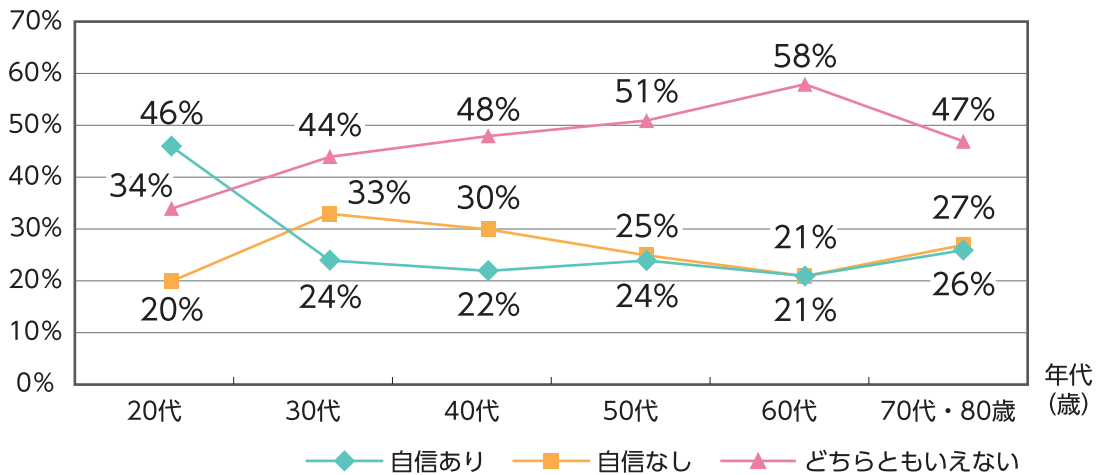
■ 今、健康に自信がありますか？

【図3-1】健康に対する意識



自信を持っている人は32%である。判断できずにいる人が最も多く44%を占めている。

【図3-2】年代別健康に対する意識

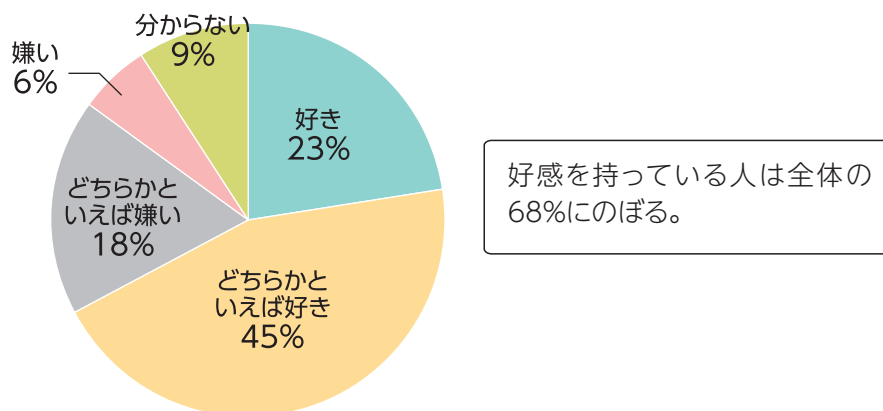


20代が最も健康に自信を持っていることを読み取ることができる。

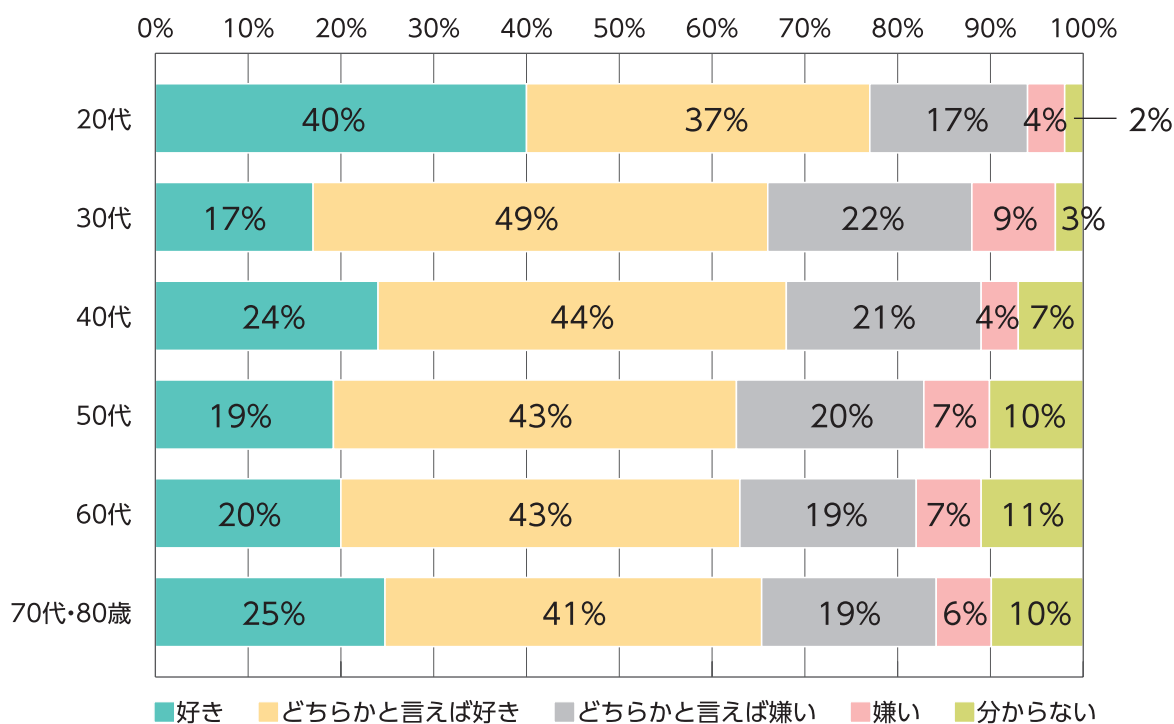
スポーツ・レクリエーション・運動に対する好感度

■ スポーツ・レクリエーション活動や運動が好きですか？

【図4-1】スポーツ等への好感度



【図4-2】スポーツ等への好感度（年代別）

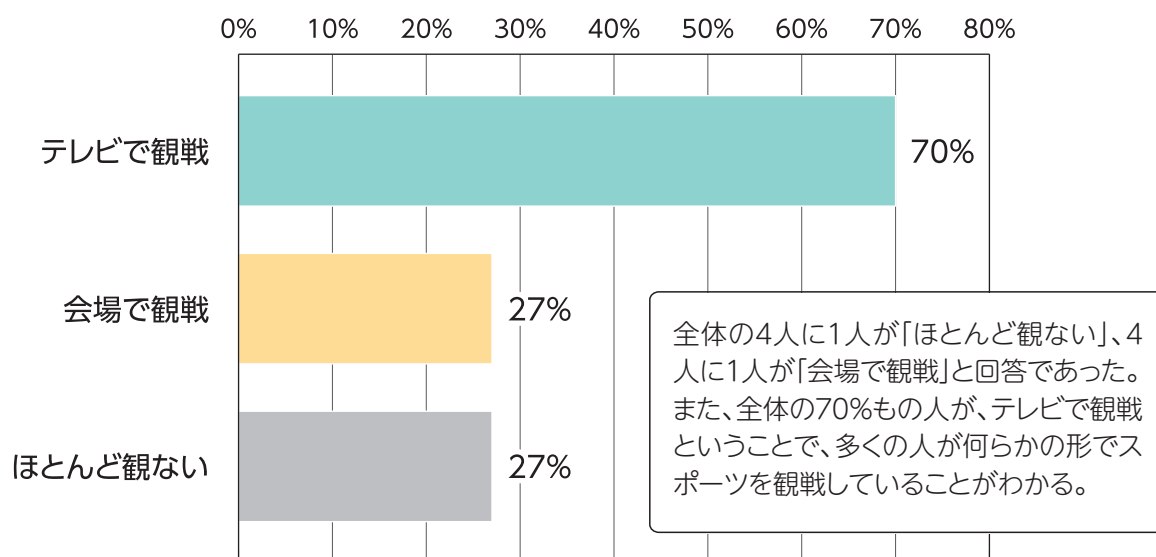


スポーツ等が「好き」の回答は、20代で多く、その後30代で急激に落ち込み、40代で回復している。

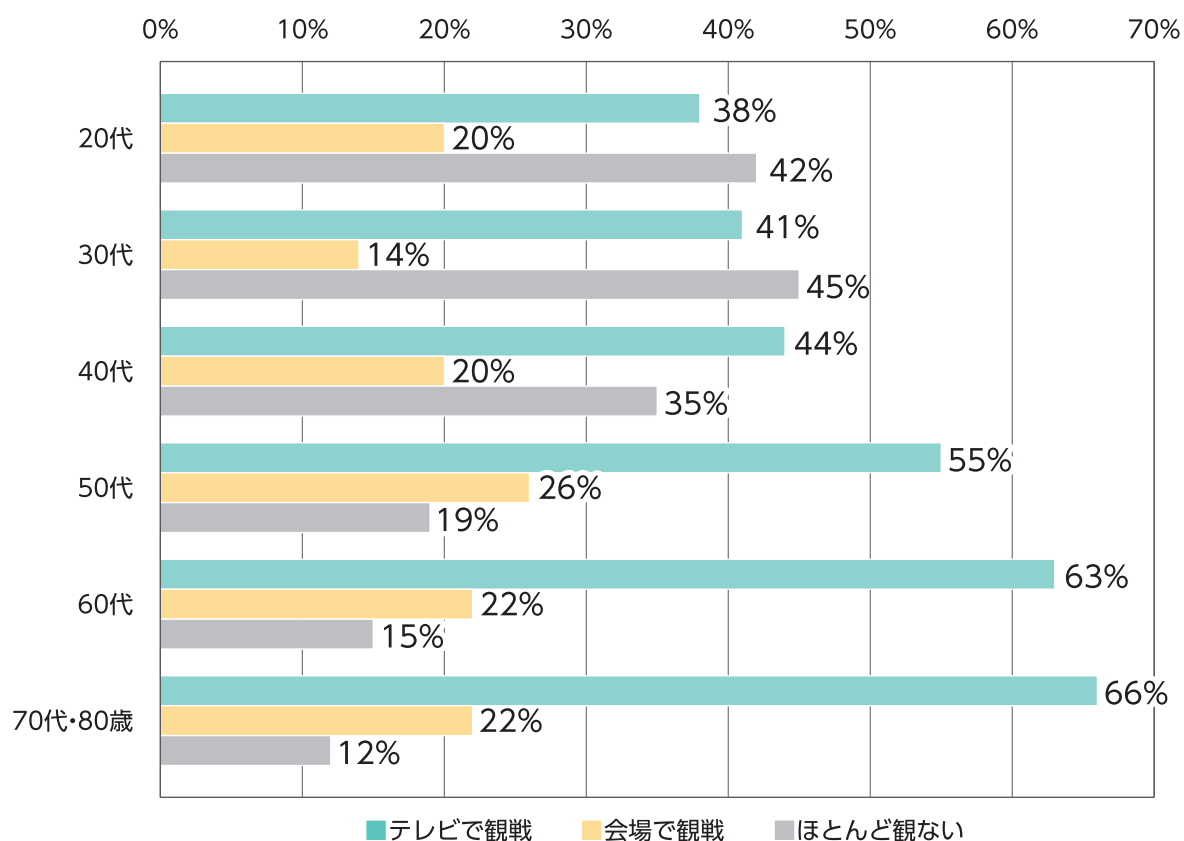
みるスポーツに対する状況

■ スポーツを観戦することはありますか？

【図5-1】スポーツ観戦の状況（複数回答）

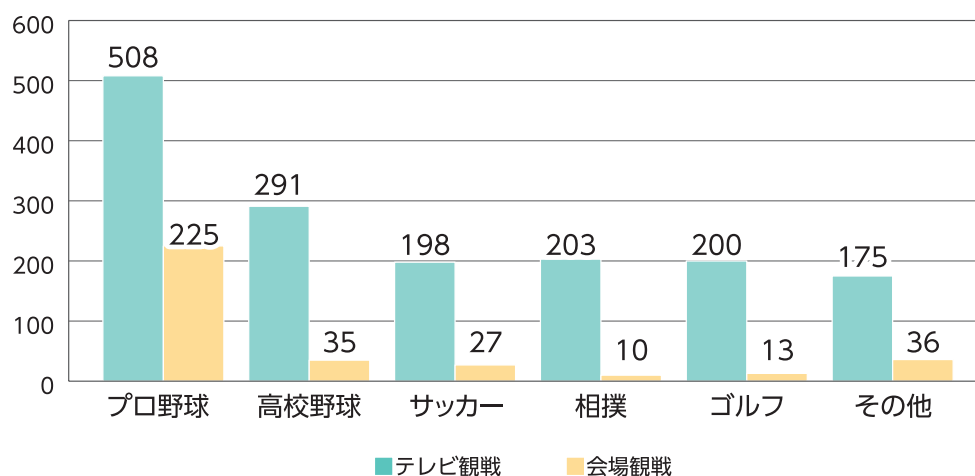


【図5-2】スポーツ観戦の状況（年代別・複数回答）



■ よく観るスポーツは何ですか？

【図5-3】スポーツ観戦の状況（種目別・複数回答・件数）



その他の種目について

● テレビ観戦

種目	回答数
バレーボール	50
陸上・駅伝・マラソン	22
プロテニス・テニス	20
卓球	12
バスケットボール	12
フィギュアスケート	7
オリンピック	7
カーリング	6
バドミントン	6
ラグビー	6
水泳	6
スケート	5
なんでも	4
柔道	3
ボクシング	3
剣道	2
スキー	2
体操	2
釣り	2
空手	1
自転車	1
バイク (MotoGP)	1
大リーグ	1
総合格闘技	1
ハンドボール	1
ダンス	1
世界大会	1
F1	1
アマチュア野球	1
ピンポン	1
ウォーキング	1
K-1	1

● 会場観戦

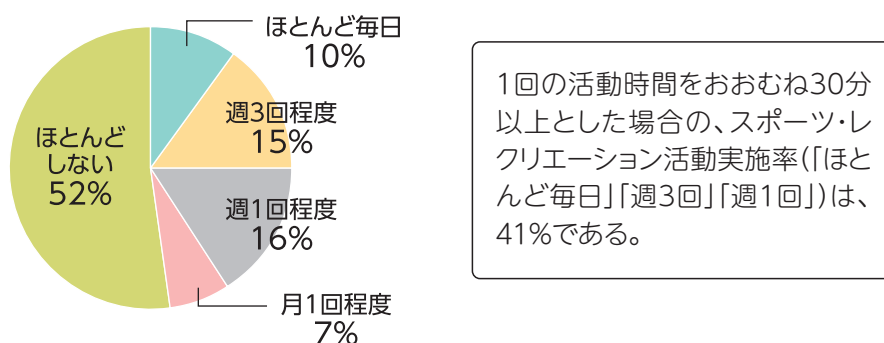
種目	回答数
陸上・駅伝・マラソン	6
バスケットボール	6
バレーボール	5
ダンス	3
自転車	1
ハンドボール	1
プロレス・総合格闘技	1
スケート	1
F1	1
卓球	1
ラグビー	1
テニス	1
柔道	1

プロ野球、高校野球のテレビ観戦率はとても高い。プロ野球は、テレビ観戦に対して、およそ半分の人が会場でも観戦しており、マツダスタジアムや由宇球場での観戦が多いと予想される。その他のスポーツの中で、バレーボールやマラソン・駅伝、テニスなどテレビ中継が集中的にある種目は回答数が多い。少数意見として多くの種目があげられた。

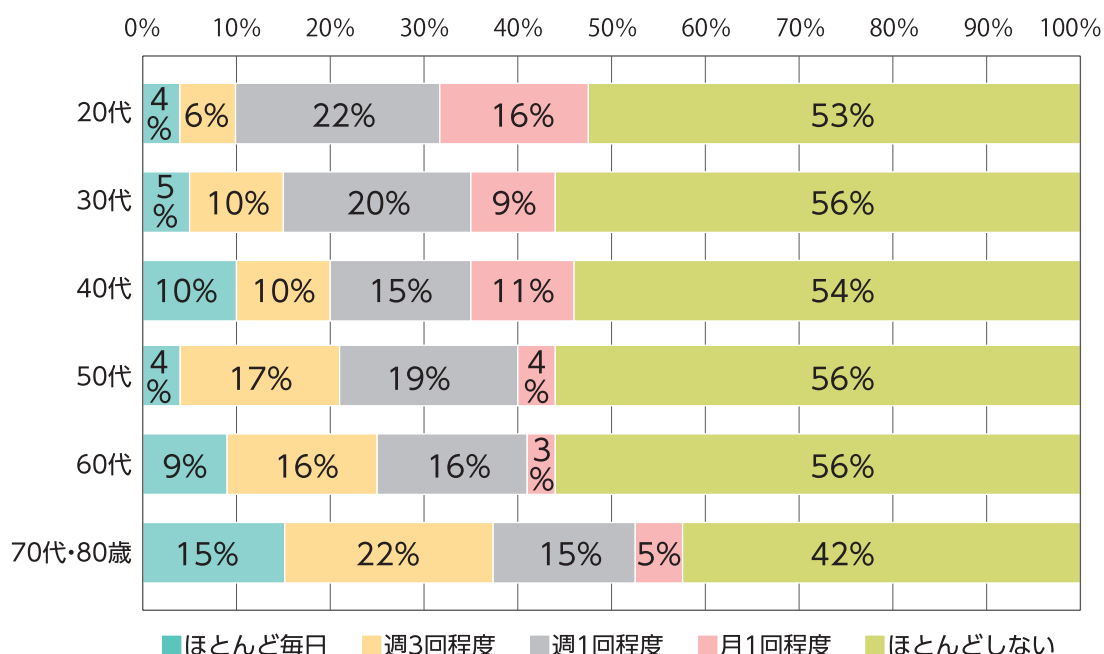
スポーツ・レクリエーション・運動実施状況

■ スポーツ・レクリエーション活動や運動をどのくらいしていますか？

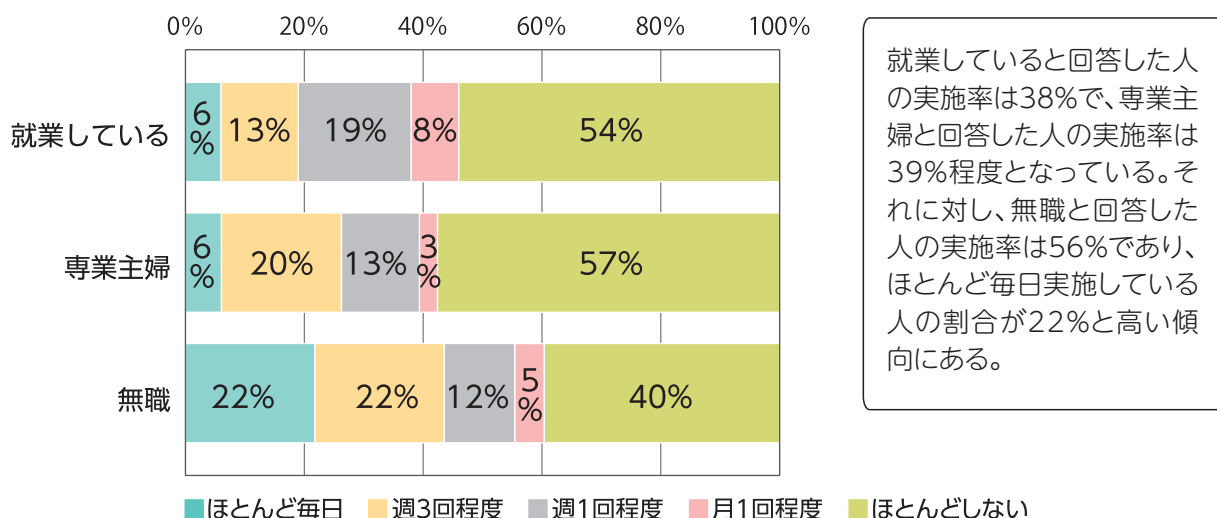
【図6-1】スポーツ等実施状況



【図6-2】スポーツ等実施状況(年代別)



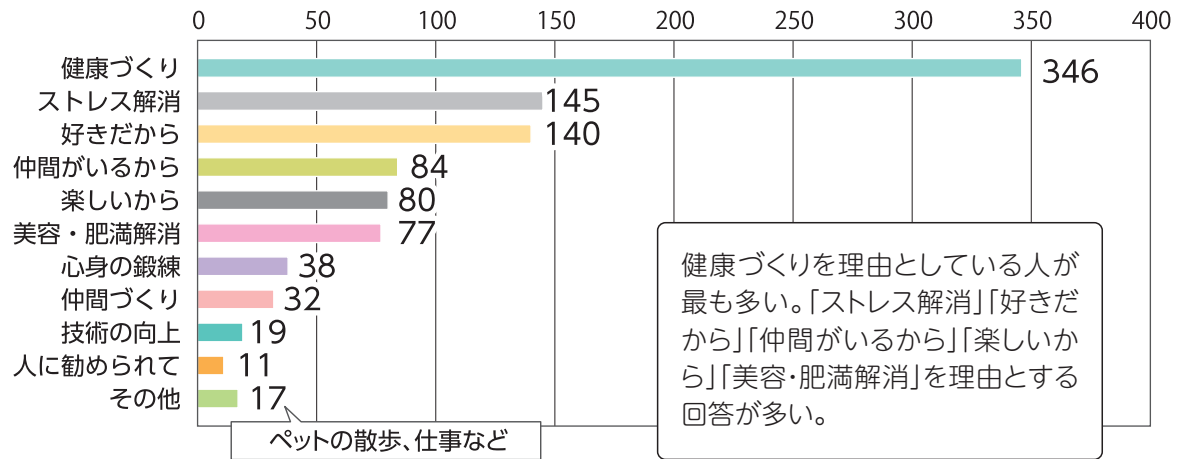
【図6-3】スポーツ等実施状況(就業別)



スポーツ・レクリエーション・運動を実施している人の状況

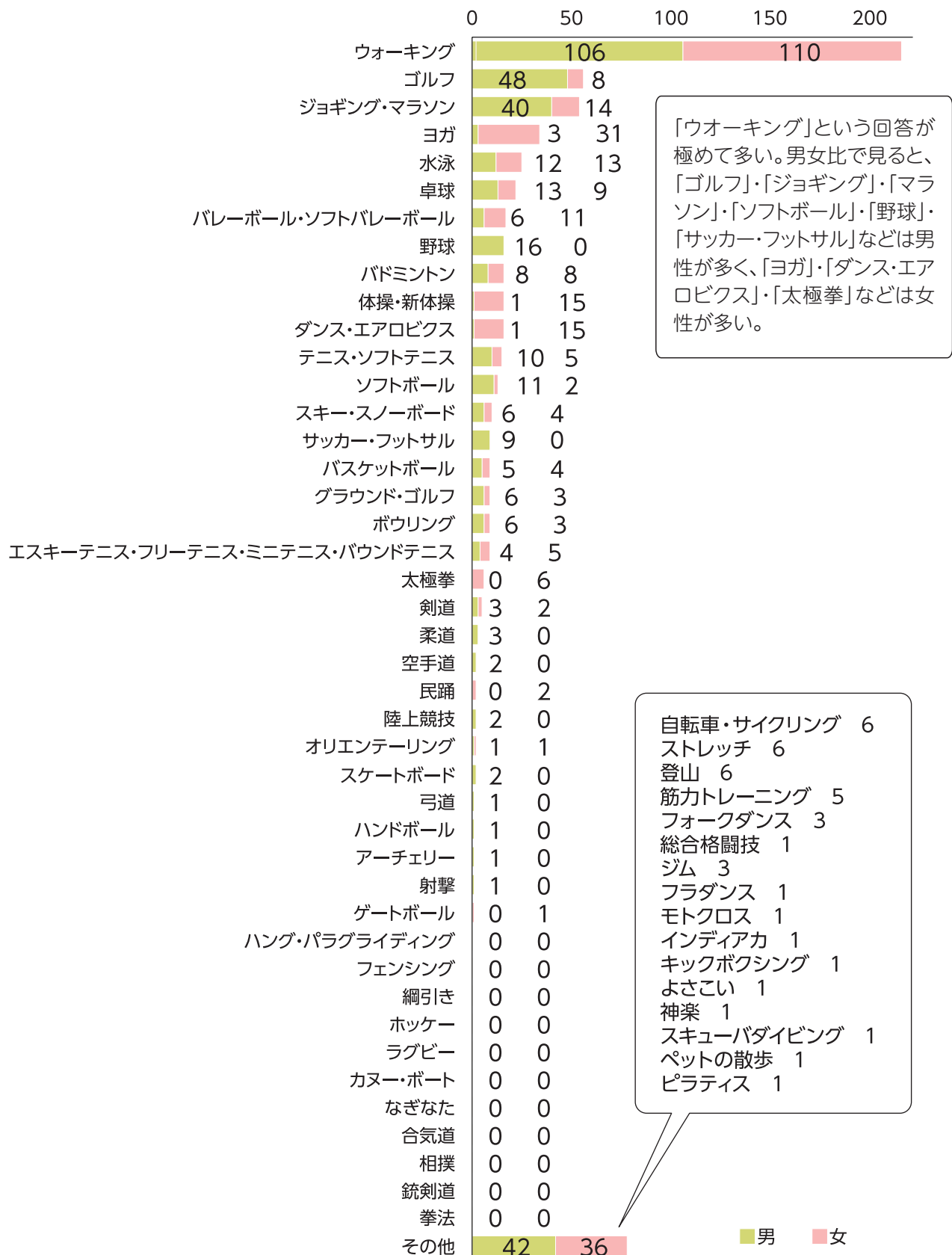
■ スポーツ・レクリエーション活動や運動をする理由は何ですか？

【図7-1】スポーツ等実施理由（複数回答・件数）



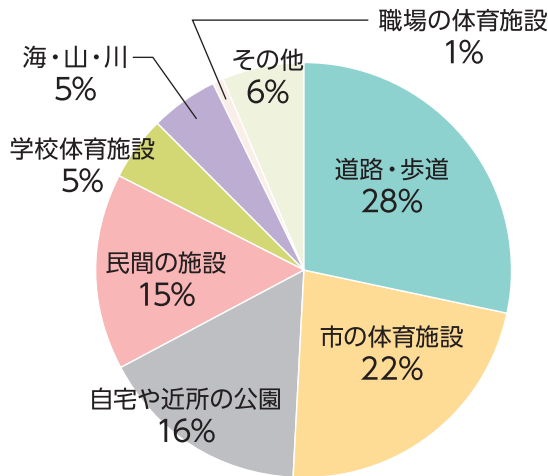
■ どのようなスポーツ・レクリエーション活動や運動をしていますか？

【図7-2】スポーツ等の種目実施状況（複数回答・件数）



■ 主にどこでスポーツ・レクリエーション活動や運動を行っていますか？

【図7-3】スポーツ等実施場所

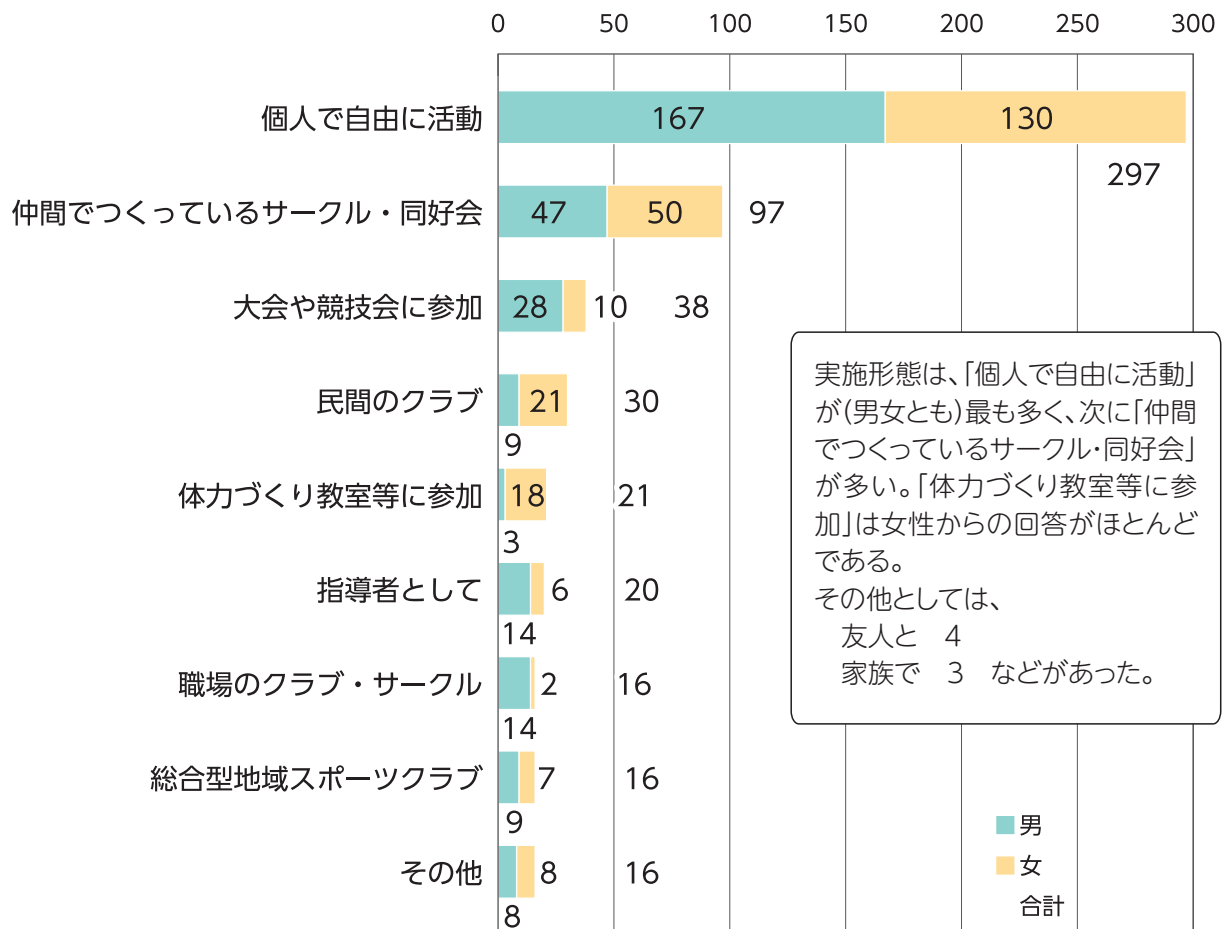


実施場所は、ウォーキング実施者が多いためか「道路・歩道」という回答が最も多く全体の28%を占めている。「自宅やその近所の公園」は16%、「何らかの施設」での実施が42%となっている。

その他としては、
供用会館 3
公民館 7 などがあった。

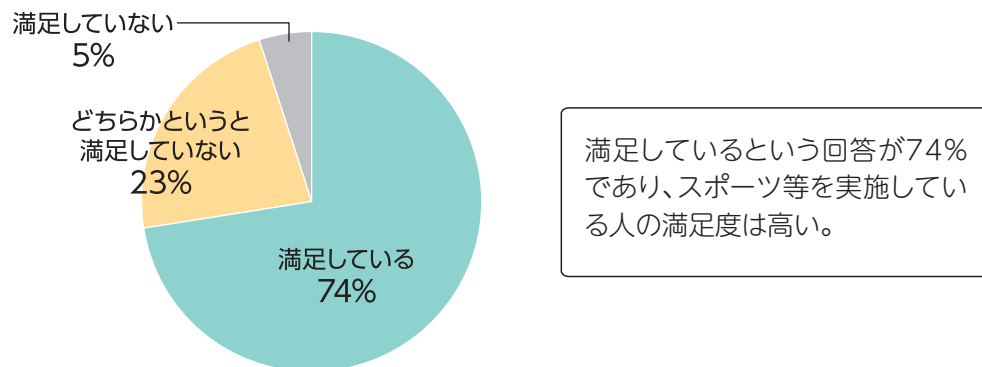
■ どのようなかたちでスポーツ・レクリエーション活動や運動を行っていますか？

【図7-4】スポーツ等実施形態（複数回答・件数）



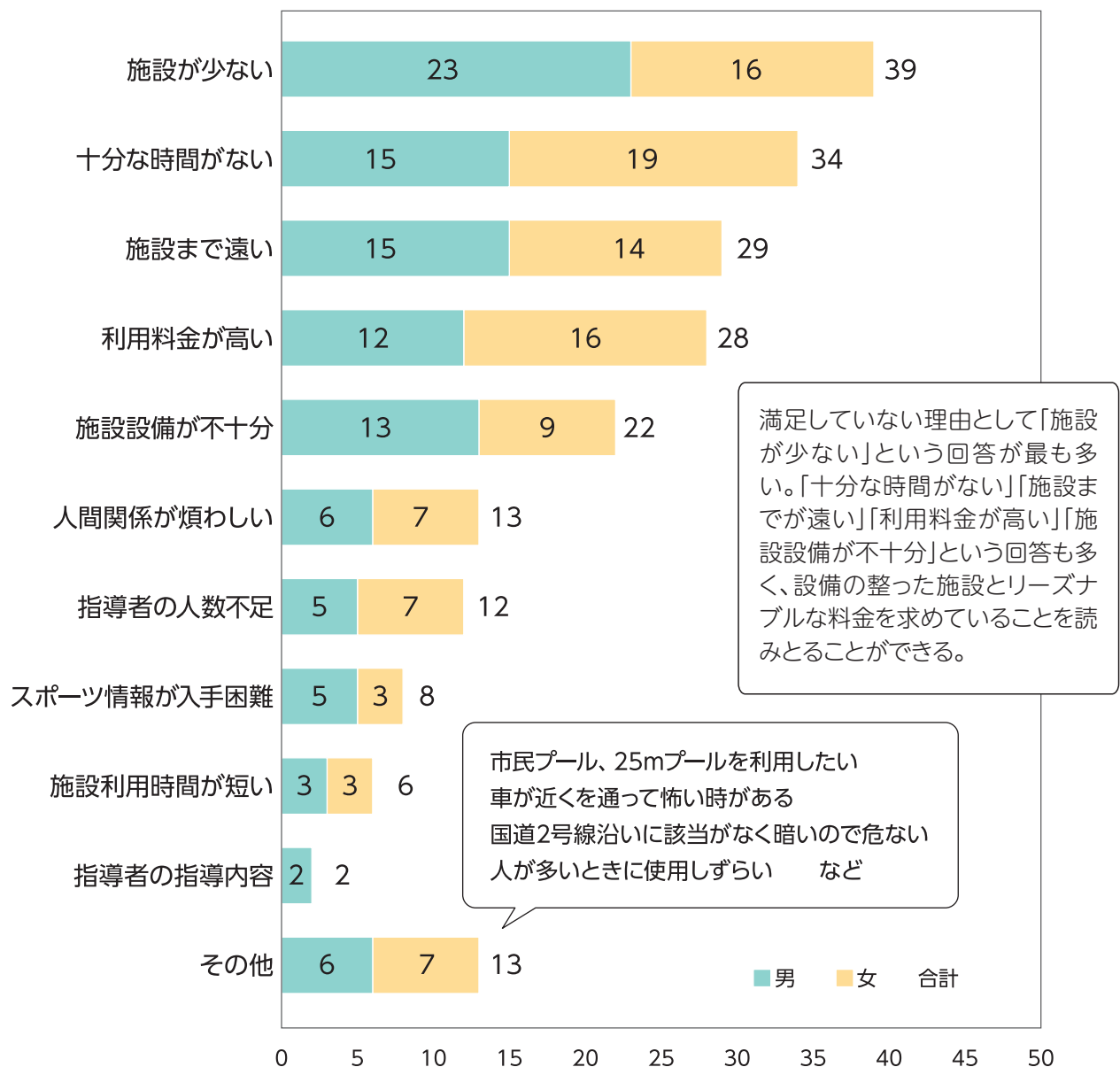
■ 現在行っている活動に満足していますか？

【図7-5】実施スポーツ等活動に対する満足度



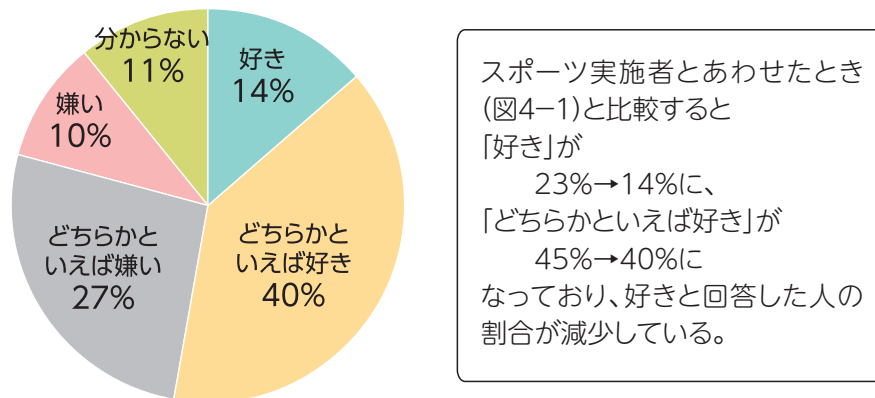
■ 満足していない理由を教えてください。

【図7-6】実施スポーツ等活動に満足していない理由（複数回答・件数）

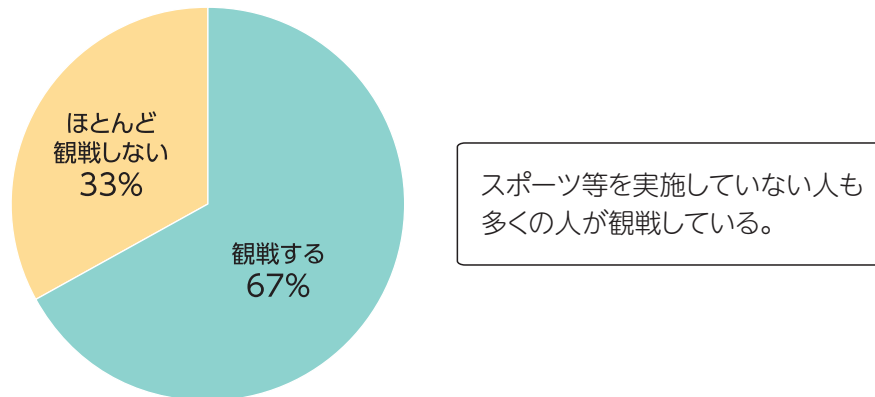


スポーツ・レクリエーション・運動をほとんど実施していない人の状況

【図8-1】スポーツ等を実施していない人のスポーツ等への好感度

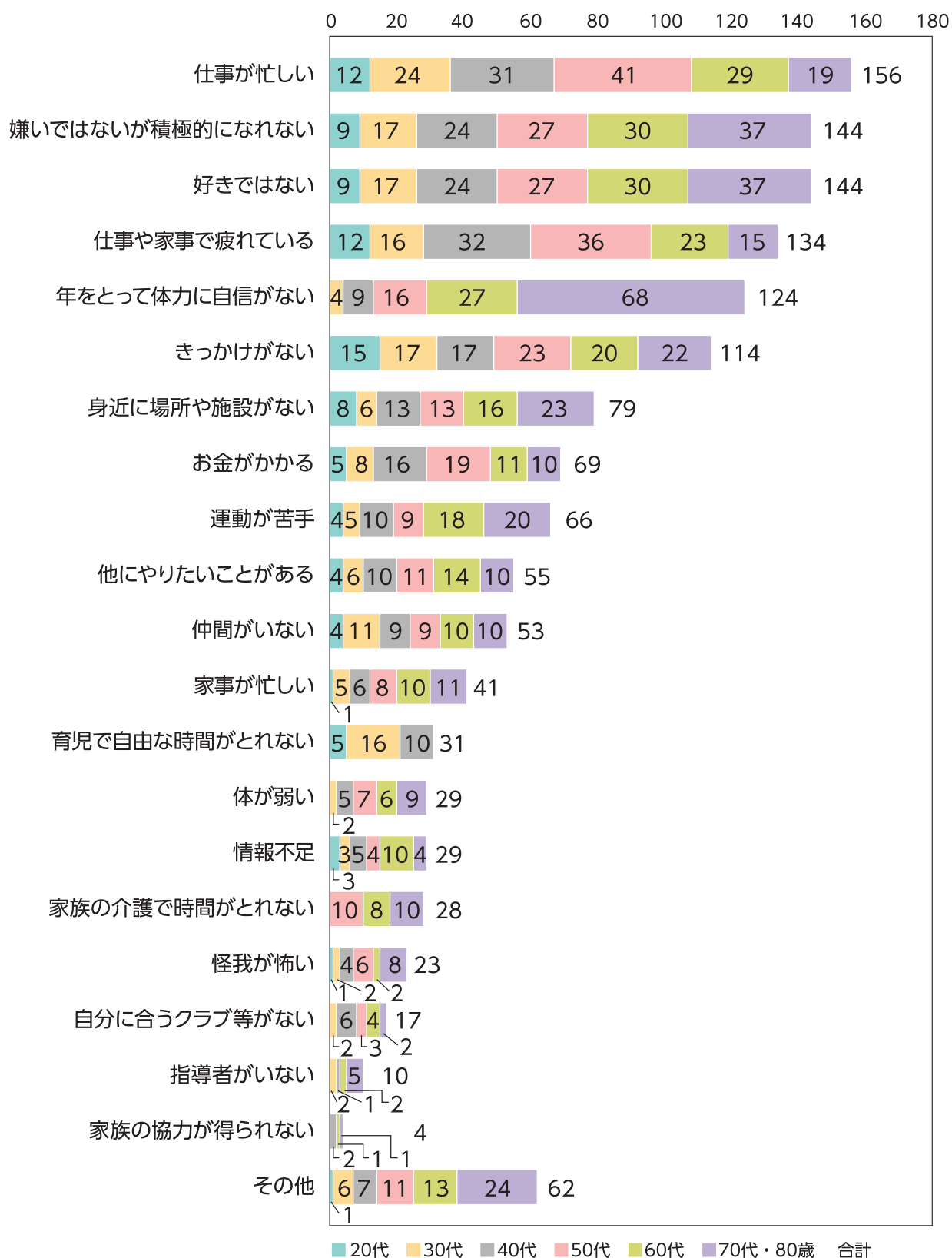


【図8-2】スポーツ等を実施していない人のスポーツ観戦の状況



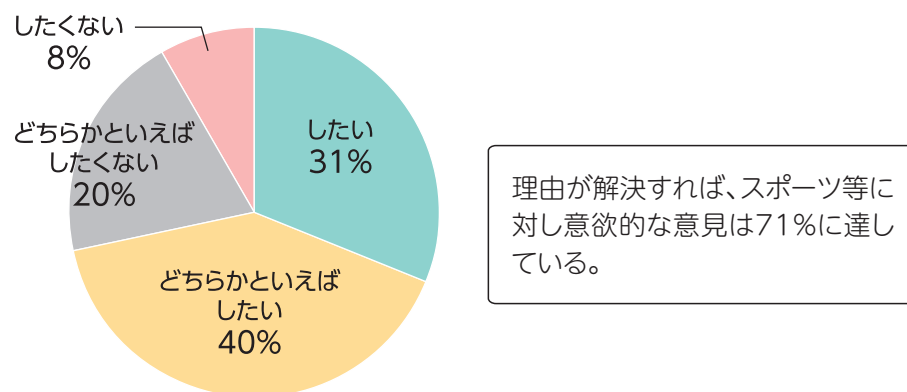
■ スポーツ・レクリエーション活動や運動をほとんどしない理由は何ですか？

【図8-3】 スポーツ等をしていない理由（複数回答・件数）

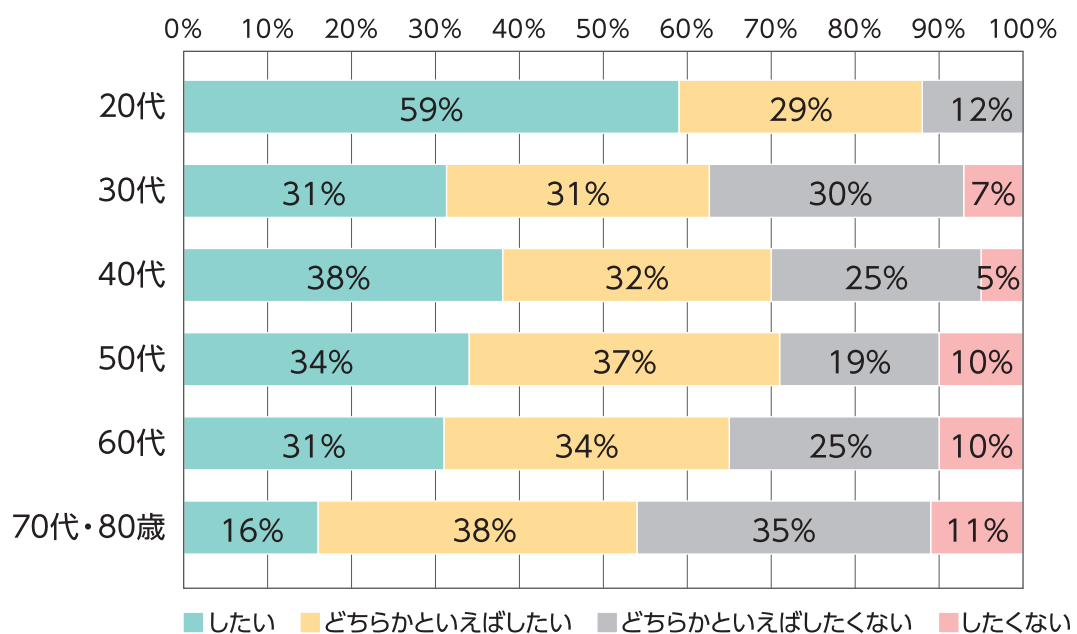


■ スポーツ・レクリエーション活動や運動をほとんどしない理由が解決したら、実施したいと思いますか？

【図8-4】スポーツ等を実施していない人の実施希望状況

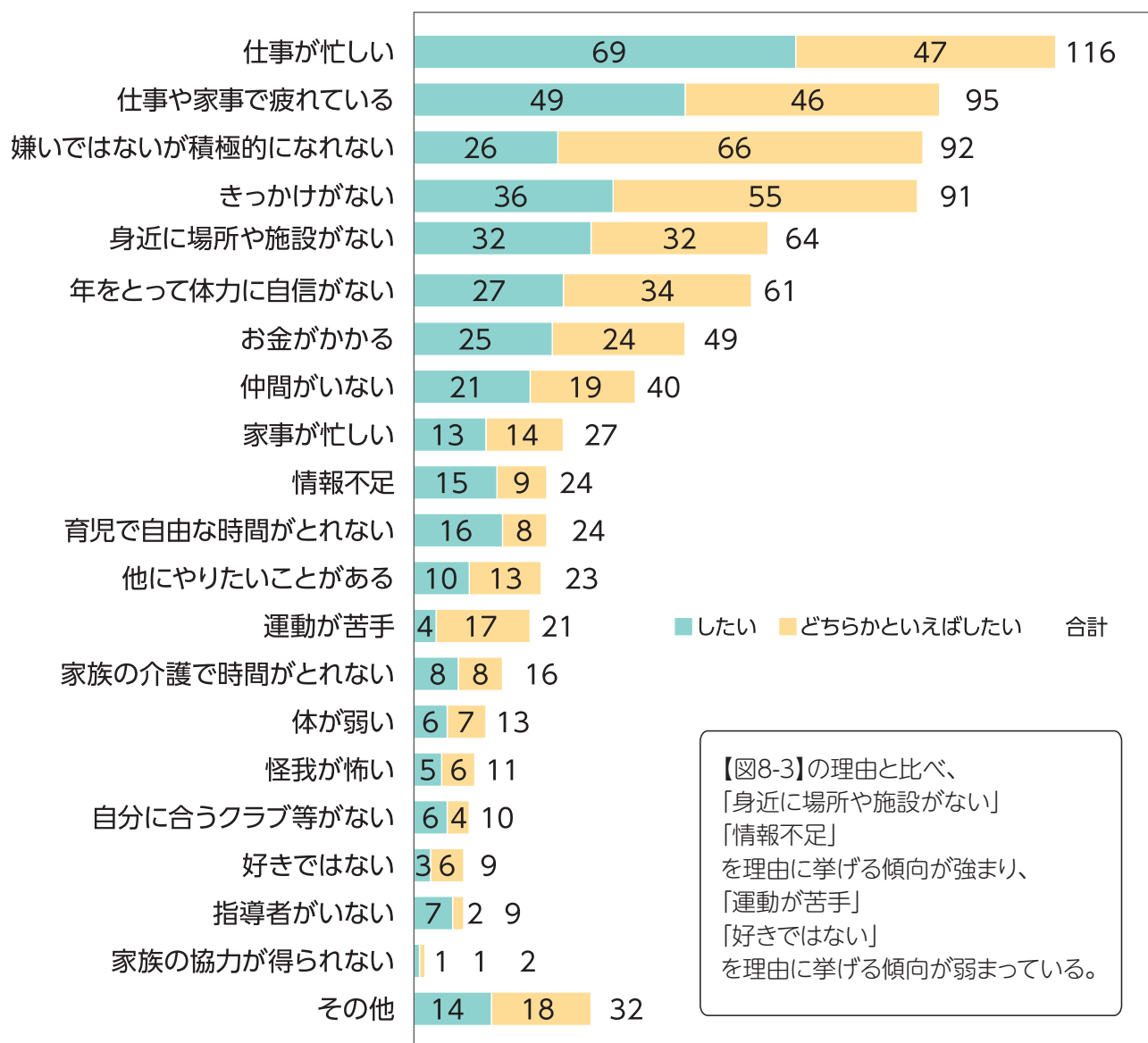


【図8-5】スポーツ等を実施していない人の実施希望状況（年代別）



年齢が高くなるにしたがって徐々にスポーツ等に対する意欲が減少している。

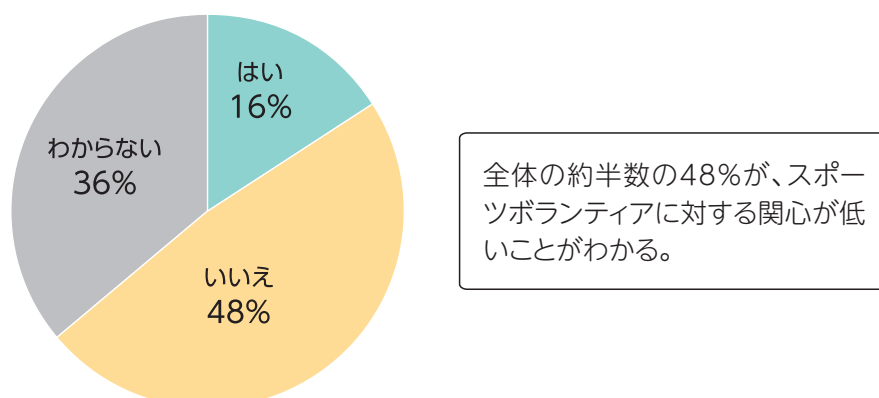
【図8-6】スポーツ等実施希望者でスポーツ等をしていない理由（複数回答・件数）



スポーツボランティアへの関心

■ スポーツ・レクリエーション活動に関するボランティア活動を行いたいと思いますか？

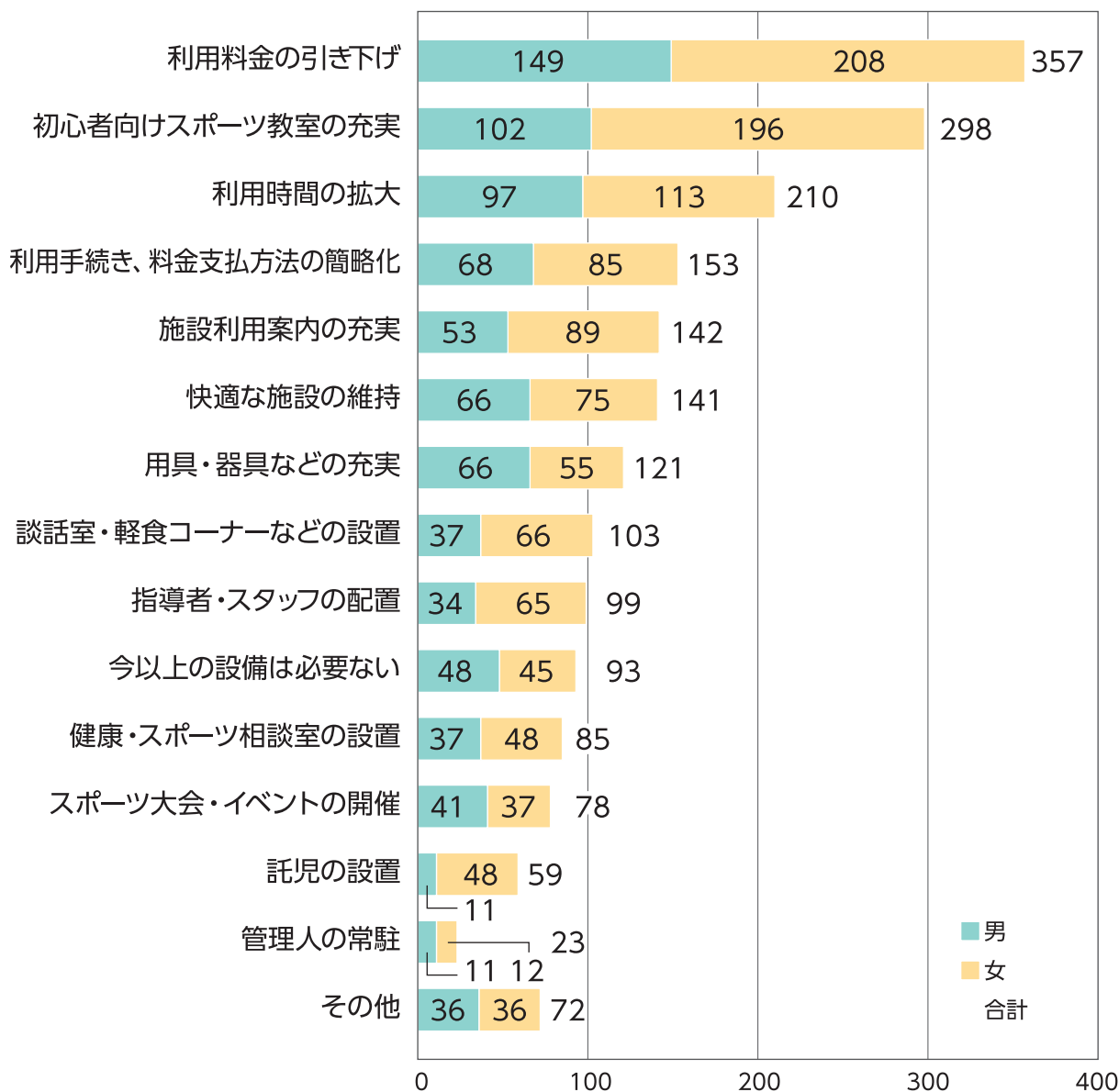
【図9-1】スポーツボランティア活動に対する関心度



スポーツ施設に対する希望

■ 公共のスポーツ施設の管理・運営について、何を望みますか？

【図10-1】スポーツ施設に対する希望(複数回答・件数)



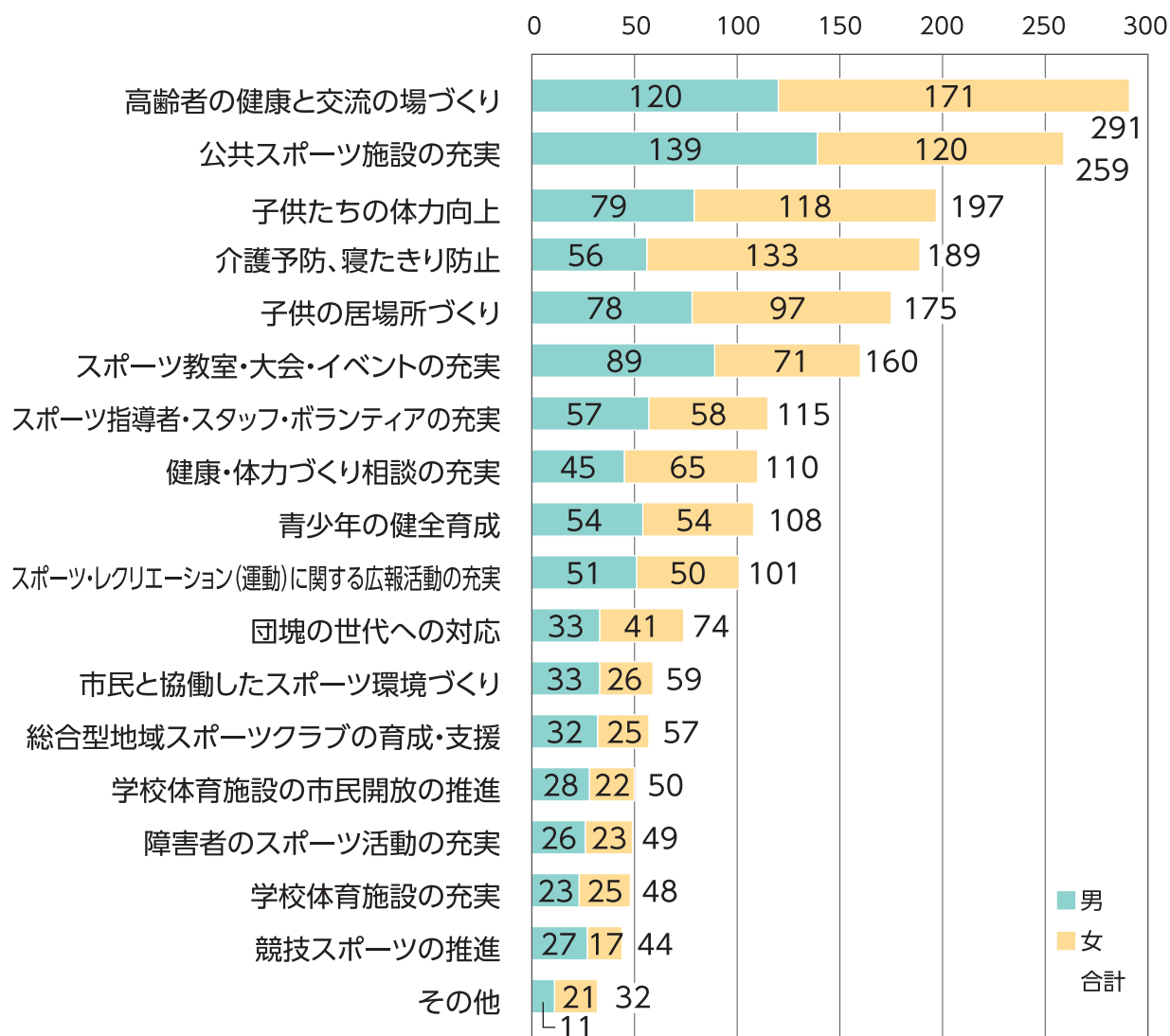
【スポーツ施設に対する希望 その他の意見】

1	プールの設置
2	総合体育館の機械が古い。
3	近い場所が欲しい。
4	教室の紹介[パンフレットの配布]
5	スキルの高い指導者がいるとよい。
6	初心者向けではない教室
7	子どもと一緒に遊べて、子どもが喜ぶ施設。
8	その場所へ行く為の交通手段。交通の利便性。
9	清潔な状態の維持
10	用具、器具などの使用前講習を20時以後もしてほしい。

スポーツ振興施策に対する希望

■ スポーツ振興について今後、どのような点に力を入れてほしいと思いますか？

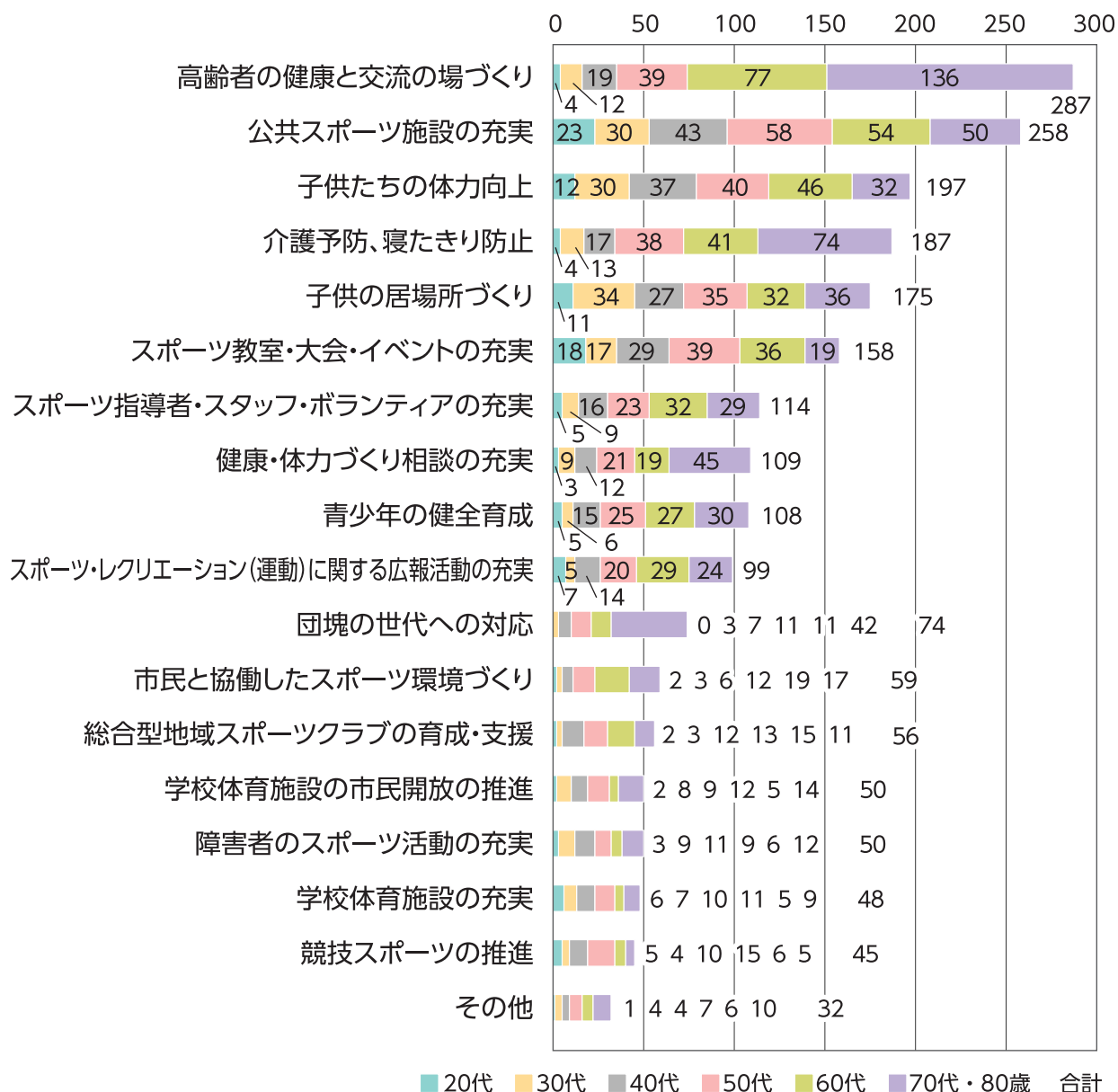
【図11-1】スポーツ施策に対する希望（複数回答・件数）



【スポーツ施策に対する希望 その他の意見】

1	SNSによる情報発信
2	サイクル専用ロードの設置
3	市内のスポーツジムの無料利用
4	ウォーキングに適した道が狭い
5	免許証を返納したひとでも集える利便性
6	スポーツ、レクリエーション指導者の育成
7	家の近くで誰でも気軽に参加できる場所づくり
8	市の大会などを増やしてあげて欲しい。大物選手等を連れてきて講演等をしてもらいたい。

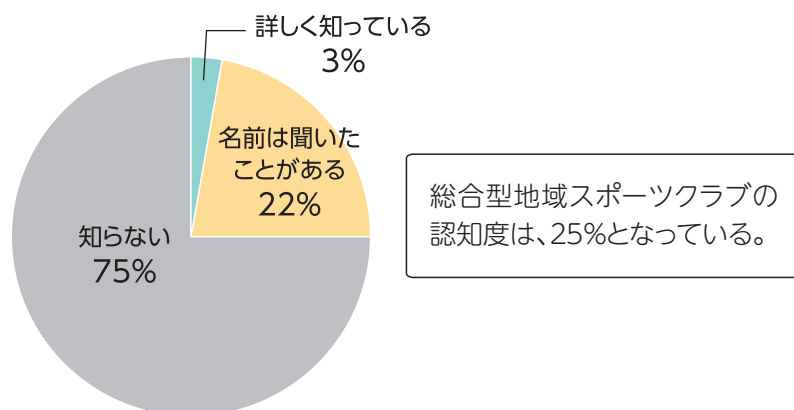
【図11-2】スポーツ施策に対する希望（複数回答・年代別・件数）



総合型地域スポーツクラブに対する関心

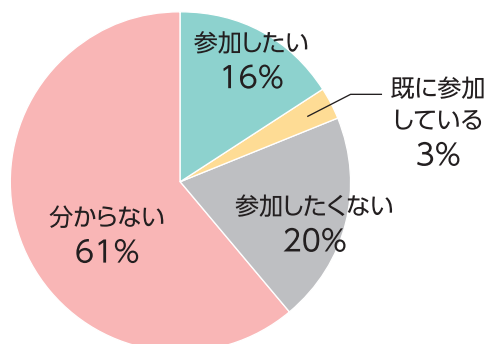
■ 総合型地域スポーツクラブを知っていますか？

【図12-1】総合型地域スポーツクラブの認知度



■ 総合型地域スポーツクラブの会員として参加したいですか？

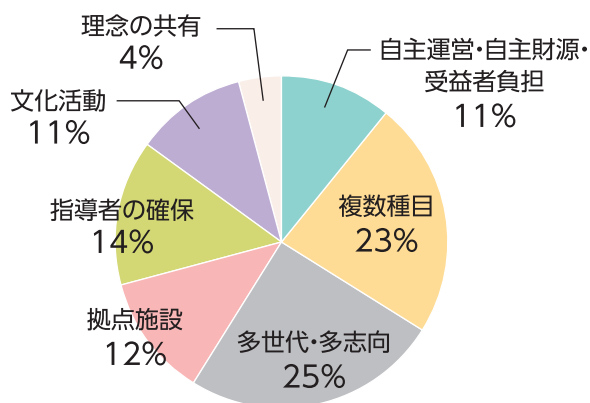
【図12-2】 総合型地域スポーツクラブへの参加希望



参加したいと意欲的な回答は16%であった。判断に迷っている回答が61%あり、認知度を上げるとともに総合型地域スポーツクラブの有用性について理解を得る必要がある。

■ 総合型地域スポーツクラブのどのような点に魅力を感じますか？

【図12-3】 総合型地域スポーツクラブの魅力（複数回答）



多世代・多志向（25%）、複数種目（23%）に魅力を感じているという回答が多い。スポーツだけでなく文化的な活動にも魅力を感じているという回答が11%ある。

自由記述（主な意見）

1	各年代の必要性に応じた様々なイベントがあれば参加しやすい。例えば小さい子どもには「速く走れる走り方教室」とかシニアには健康寿命を延ばすための日頃からできる体力づくりとか。
2	気軽に参加出来るスポーツイベントがあると良いと思う。
3	絆スタジアムでプロ野球の試合を度々開催して欲しい。河川敷を整備して子どもから高齢者まで活動できるような場所にしてほしい。
4	現在コロナ禍で難しいと思われるが、競技大会の充実(交流)が必要と思う。
5	コロナ対策もあり、難しいでしょうが、イベントの参加人数が制限されるのでなかなか参加ができないことがある、回数を増やす等の対応をお願いしたい。
6	スポーツの日にもっと多くのスポーツに参加でき、又観る機会になったらと思う。
7	プロスポーツの試合がない。
8	以前在住地域の教室では初心者～中級クラスまであったが、岩国は初心者教室のみとなっているため、知らない土地に越して来た私にとってコミュニケーションを取りたかったが、役に立たなかった。
9	子どもの体力作りや運動能力向上のための教室(体操教室など)を岩国市街中心部だけでなく、玖珂周東や美和美川などの中心部以外のエリアでも充実させてほしい。
10	ストレッチや体操などオンラインで行ってくれたらうれしい。オンラインで続けることによってスポーツクラブなどに行く自信が付きそう。また家族で行くことでスポーツクラブに行くことに理解してもらえそう。
11	「スポーツクラブ」であっても個別に自由な時間に利用できるようであれば参加したいと思う。
12	アンケート用紙が届きネットで確認してKUGAスポーツクラブの詳細を知る事ができた。機会があれば何か楽しみたいと思う。
13	以前はスポーツクラブに参加していたが、年会費は高いと思った。

14	会費については週1回500円で月2000円程度が望ましいと思う。
15	学校の教員が部活動の顧問を担うのは、負担が大きすぎるので、総合型地域スポーツクラブを活用して学校から地域へ開かれた部活動の移行を早急にすすめてほしい。
16	市内の中心部(麻里布)等にも、地域スポーツクラブを開催してほしい。
17	市民全体にもっとスポーツクラブ等がわかるように身近にしてほしい。
18	スポーツクラブへの入会の方法が分からない。
19	総合型地域スポーツクラブは初めて知ったが、子どもがスポーツに気軽にできるきっかけがあるのはとても良いと思う。スポーツだけでなくコミュニティの役割としても期待している。
20	スポーツクラブ等に関して、参加することで、役割などが強制されたり、断れない状況となれば、不規則な時間やスケジュールで仕事をしていると会員として参加出来ない。
21	岩国市総合体育館はトレーニングルームがあるが、車がないと行けない場所にある。もっと近くに運動ができる場所があるといいと思う。
22	施設に高齢者マークをつけた車が多いのにびっくりするのとともに、家族にとっては心配の種ではないかと思う。保険をかけて利用できる送迎の車、巡回のバス等があると、高齢者の方の健康、交流の場づくり、介護予防、寝たきり防止につながるのではないかな。
23	一緒に住んでいる父が運動をしないので将来の介護が不安だ。筋肉がおちないようにデイサービスに行っているが、スポーツクラブなどで楽しめたらと思う。そういった方(介護のある方)も参加できると良い。
24	近所にスポーツ施設があるため好ましいが高齢者への運動の要領、方法(ウォーキングの考え方など)を説明する場を設けてほしい。
25	高齢化に向けて手軽に相談できる地域密着型の相談員がいると良いと思う。
26	高齢者が増えていく中、気軽に参加出来、足腰を鍛えながら仲間づくりも出来るようなサークルが出来ると良いと思う。
27	高齢者の健康維持の為にスポーツクラブを地域でつくってほしい。行く所のない高齢者が多く在宅で生活している。供用会館の有効利用をすすめて欲しいと思う。
28	フレイル予防に力を入れて欲しい。
29	子どもにスポーツをさせたいが遠くて通わせられない。大会など行なうなら市内に多くある休校した体育館などを使用して欲しい。
30	子どもが産まれる前は週2程度、友達とスポーツをしていたが、やはり子どもが産まれると継続は絶対的に無理になる。託児の設置は人手がいるので難しいと思うが、そのような施設が増えれば小さいお子さんがいる方も安心して利用でき、スポーツをする方も増えるのではないかな。
31	子ども(小学生)が運動不足になっていると思う。体育の授業だけでは不十分だと思うが、地域のクラブ活動も少ないと思うので増やして欲しい。指導者への指導もして欲しい。
32	子どもたちがもっと気軽に体験できる場所が充実すると良いと思う。
33	子ども達のスポーツ離れが見受けられるので、子ども達にスポーツの楽しさをわかってもらえる様なイベントやスポーツ大会をどんどんやってほしい。
34	託児か子ども(2歳児)と一緒にできるスポーツがあればいい(夏は暑いので室内で)。車を持ってないので送迎があるとうれしい。
35	近くで子どもたちの声が聞かれなくなった。元気に遊ぶ姿や大きな声は地域の元気が伺える。子どもたちが家でゲーム等に興じることなく屋外やスポーツセンター等で楽しく過ごせるアイデアが欲しい。
36	中学・高校でスポーツ専門学科に力を入れて岩国は、これが強い!というスポーツを作って欲しい。市民全員で応援出来るような。それが野球であれば最高。
37	駐車場(木材の建物)、駐輪場(ベビーカーやバギーもおける)等の確保。保育施設の設置。
38	小学生の子どもがいるので、小学生向けのスポーツ教室(特定のスポーツばかりではなく、様々なスポーツを体験できるようなもの)があれば参加させたい。
39	市内の学校施設を利用し、現在の部活動の指導を地域の方が指導できるようになれば学校も助かると思う。勝利至上主義ではない楽しいスポーツ活動ができればと思う。勝利を目指す者はクラブチーム
40	もし必要とされ、可能であれば指導者としての技術や考えを次の若い世代に引き継げる事が出来たらうれしい。その為にも、子どもたちにあらゆるスポーツを見る機会を(又は資料)作ってほしい。
41	遊び場としても現在そんなに広い場所がないので、広くスペースがある場所で学生時代したように運動をしたい。
42	岩国市が運営するプールがないので施設を作ってほしい。
43	岩国市のスポーツ設備は充実していると感じる。個人利用できる体育館などをもっと気軽に活用するためスムーズに予約できるよう利用手続きを簡略化してほしい。(ネットですべてできるように。利用者登録申請等)
44	岩国にボーリング場を作ってほしい。
45	多くの事を行うより、施設の安全を第一に運営して欲しい。
46	海田町にある小さなスケボーパークが、いつも賑わっている。岩国市もどうか。
47	キャンプ場施設の充実

48	玖珂のあいあいセンターのシャワー室を使えるようにしてほしい。
49	体を動かすことは大事なことで、また、その人その人で体力は違うので、マイペースで体を動かせるような公の場があったらいいと思う。(お金がかからないのがベスト。)
50	ウォーキングをしたいが、車や夜が怖い。玖珂総合公園はウォーキングコースがあって、とても良いと思う。ウォーキングコースが町の色んな所にあると便利。玖珂総合公園は、月曜日も開いているので、うれしい。早朝も開けてもらえるとうれしい。
51	運動は苦手で体力もないが、近所に愛宕コンプレックスができ、コロナが始まってから利用してる。テレワークやパソコンで仕事をする事が多く、日頃(平日)30分歩くことすらないが、緑が多く整備されたコースがありとても助かっている。安全な場所で運動したいのでパトロールカーは、今後も継続してほしい。また、姿勢、骨ばんを正しく保つだけでも日々の体の負担が減るので、ストレッチや軽い筋トレを教えてくれるスペースがあると嬉しい。
52	心にも体にもスポーツが大事な割合を占めると思うので、今後の健康作りの為にも役立つ施設の利用が身近になるようにしてほしい。
53	ゴルフ練習場と指導の場があれば、利用したい。
54	施設の利用料金を引き下げ運営出来ないか。
55	市の施設のジムについては市民は無料にしてはどうか。市税確保の為等で必要かも知れないが、他で税収入を得てはどうか。
56	膝や足腰が弱くなる高齢者にとって水中運動が最適だと思うので温水プールがあればよい。
57	設備の老朽化が著しいので、更新を随時行ってほしい。
58	総合体育館の野外のバスケットコートにネットが欲しい。他で利用してきた所の倍以上の利用料金のトレーニングルームも値下げをして欲しい。高い事を理由に使用頻度が少ない。
59	体育館にスポーツジムのような機具があれば良い。
60	団地や地域の公園に子ども用の遊具だけでなく大人も利用できるような運動器具を設置して欲しい。
61	近いところへの公共のスポーツ施設を充実させて欲しい。また、スポーツクラブについてもっと目立ったPRが必要と思う。
62	手軽に体を動かす事に興味を持っている人は少なからずいると思われるが、近場でとなるとハードルはぐんと上がると思う。最近では市内に有料の民間のジムが沢山できた。可能ならば市民に時間や日にちの制限があっても、そのジムを30分利用できるクーポンを安く販売するか、無料で利用できるクーポンを配る助成があったらいいと思う。
63	年々暑くなっているので、外でやる競技は夏だけ9時からでなく、もう少し早く使用させてほしい。
64	マラソンコース、トレイルランニングコース、サイクリングコースを整備してみてもどうか。
65	無料のスイミングを作ってほしい。みんなで楽しくダイエットをしたい。
66	ロードバイクに乗ることがあるが、安心して走れる様な環境があると良いと思う。(サイクリングロードや自転車走行帯など)
67	岩国市内には、多くのすばらしいスポーツ施設があるが、一般市民として個人・グループで利用できるものをもっとピーアールしていただきたい。
68	公共スポーツ施設の場所、料金等全く知らない。案内等が定期的に出してほしい。
69	ゴルフに関しての情報がまったくない。情報もないが、スポーツイベントが少なすぎると思う。
70	参加の仕方がわからない。自分から積極的に知ろうとまで思わない。
71	自治会の回覧板などにスポーツレクリエーションなど詳しく知らせてほしい。出来れば無料で気軽に参加出来る場所を設けてほしい。
72	子どもとデイキャンプにはよく行っているのだから情報があればうれしい。
73	市報等で活動内容を紹介してほしい。
74	スポーツクラブは少年のクラブだと思っている。大人が活動しているクラブが存在しているのかわからない。スポーツに関する情報発信が少ないと思う。
75	スポーツに興味がある人に対して気軽に相談でき、情報が取り入れやすい環境をつくってほしい。
76	総合型地域スポーツクラブの活動状況を市報等でPRしてほしい。
77	プロスポーツや大会の告知に少し力をいれてはどうか。
78	ランニングやウォーキングのコースが知らないの、ぜひおすすめのコースなどを教えていただきたい(昨年移住)。
79	スポーツ推進の上では指導者の確保は必要だと思う。その為にも会費を集めての(市からの援助を含めて)指導者育成も大切だと思う。
80	障害者なので、運動する機会も限られると思うが、出来るスポーツが身近にあれば、自分の為にもなるし、参加してみたい。
81	岩国市民はとても保守的な人が多いと感じる。新しいスポーツに挑戦したり、興味をもつ人たちが少ないような気がする。もし、興味を持って始めても長続きをしない傾向があり、持続していけるような工夫などが必要なのではないかと思う。
82	中山間地域は活動拠点地まで遠いので参加しにくい。
83	バドミントンがあればやりたい。ラケットの貸し出し無料があればよい。
84	マイナーなスポーツにも、目をむけ、プロとして活動している若者を応援してほしい。
85	若者、お年寄り、元気な人、そうでない人、いろいろ対応できたら、参加してみたい気持ちはある。

「スポーツ・レクリエーション活動や運動に関する市民アンケート」(小学生)集計結果

1 アンケート調査の概要

本市のスポーツ振興の基本理念や目的を明確にし、本市の特色を生かしたスポーツ振興施策を推進するために、小学生の日常生活におけるスポーツ・レクリエーション活動や運動の実態について、アンケート調査を実施しました。

(1) アンケート実施概要

- (ア)調査地域 岩国市全域(岩国市立小学校(31校))
- (イ)調査対象者 小学校 第5学年児童
- (ウ)調査方法 各学校長へ依頼し実施
- (エ)調査期間 令和4年1月～2月
- (オ)回収方法 学校より送付

全体に対する割合を算出する際、少数点以下を四捨五入しているため、個々のパーセント値を合計しても調度100%にならない場合があります。

(2) 実施状況

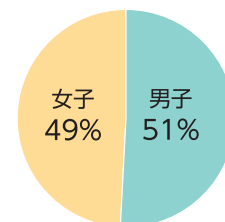
- (ア)配布件数 1,101件
- (イ)回収件数 986件
- (ウ)回収率 89.55%

(3) 回答者の状況

(ア) 男女別件数

男女別	人数
男子	506
女子	480
合計	986

【図1-1】男女別割合

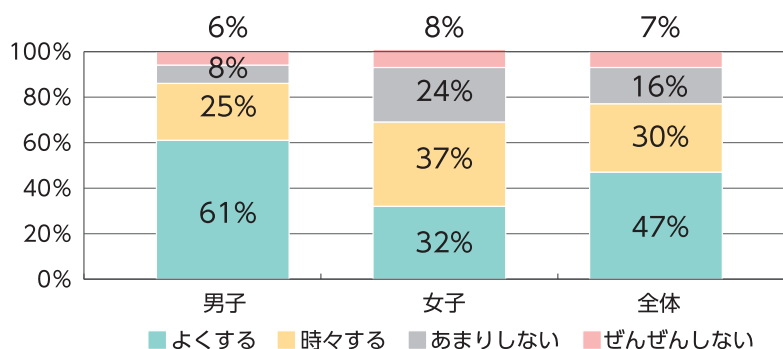


2 アンケート調査の結果内容

子供の生活の状況

■ 学校での自由時間にスポーツや運動をしていますか？

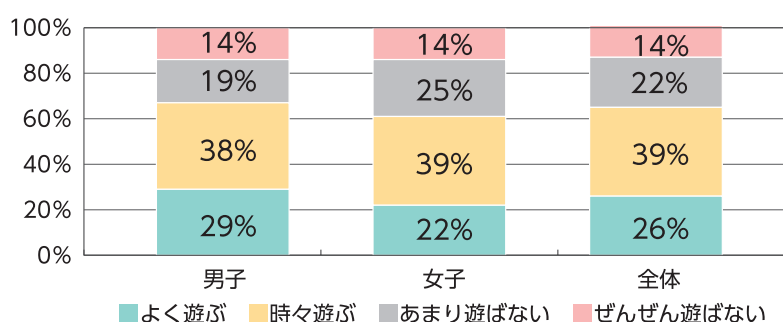
【図2-1】子供たちの生活状況



自由時間における女子の運動実施率が男子と比べ低い。全体では、「よくする」「時々する」をあわせ77%となっている。

■ 学校から家に帰って、外で遊ぶことができますか？

【図2-2】帰宅後の外遊び

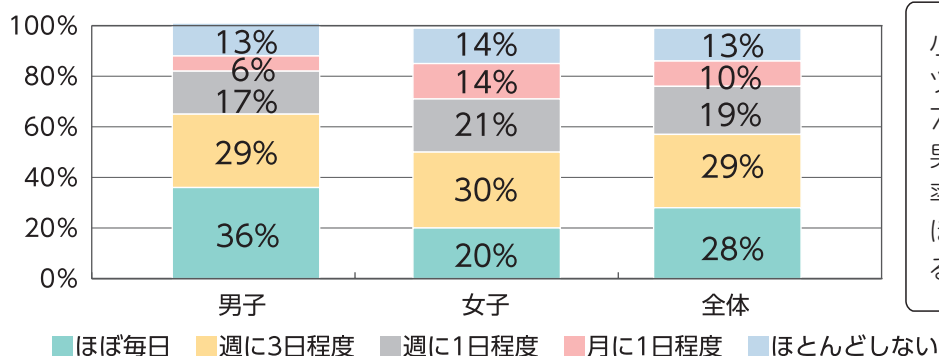


帰宅後の外遊びについても、(図2-1)と同様に女子の実施率が低い。全体の実施率は65%である。

子供のスポーツや運動の状況

■ 学校の自由時間や体育の授業以外でスポーツや運動をどのくらいしていますか？

【図3-1】スポーツ実施状況

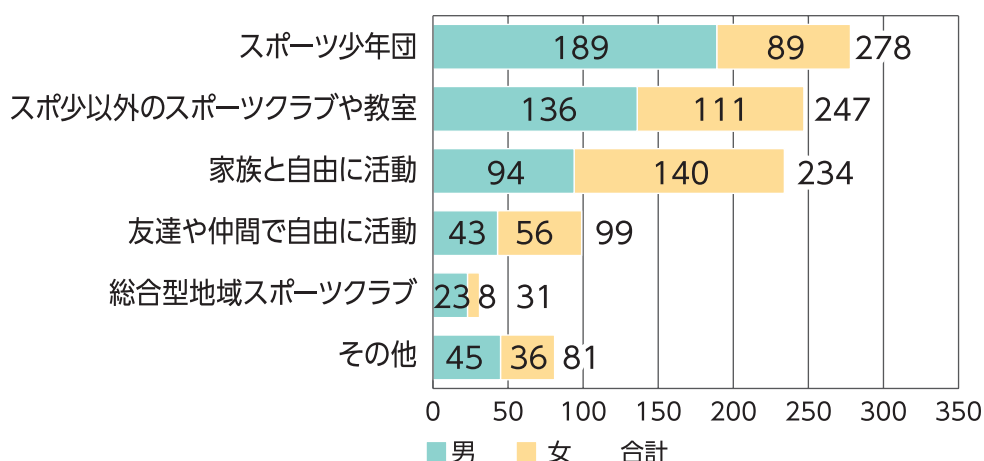


小学生(5年生)のスポーツや運動等の実施率は76%となっている。男子に比べ女子の実施率が低く、月1回程度とほとんどしないをあわせると28%になる。

スポーツや運動を実施してる子供の状況

■ どのようなかたちでスポーツや運動を行っていますか？

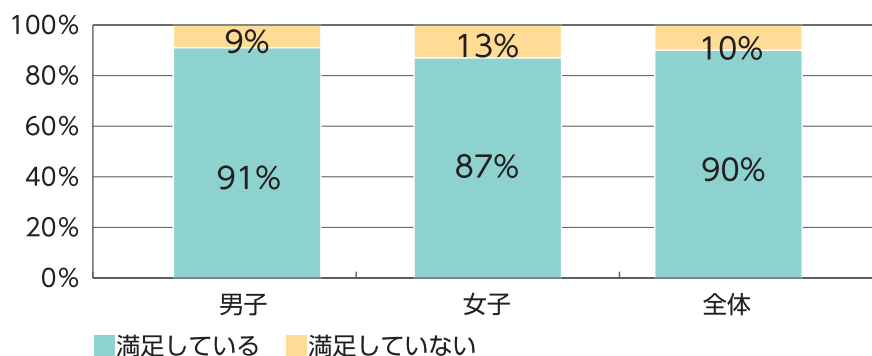
【図4-1】スポーツ等実施形態（複数回答・件数）



スポーツ少年団での活動という回答がもっとも多い。その他の回答では、実施種目名や友だちと遊ぶことをあげたものが多数で、設問の意味が理解できていない状況がうかがえる。その他としての回答では「1人で活動」「自主練習」というものが19件で最も多かった。

■ スポーツや運動をすることに満足していますか？

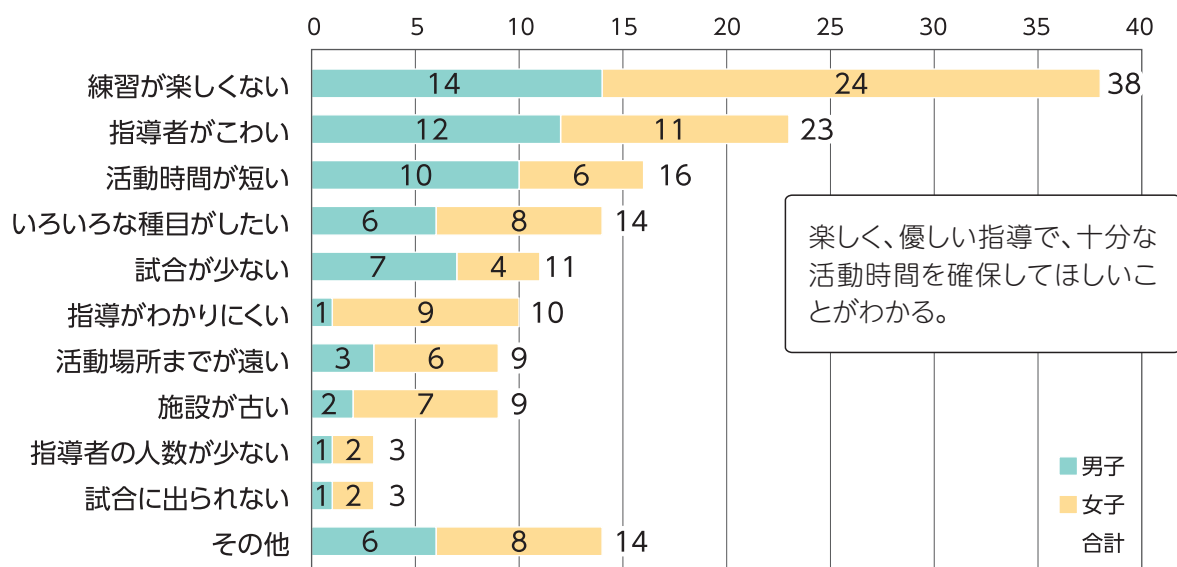
【図4-2】スポーツ等への満足度



スポーツや運動等の実施者における満足度は90%と高い。

■ 満足していない主な理由を3つ以内で選んでください。

【図4-3】スポーツ等へ不満理由（複数回答）

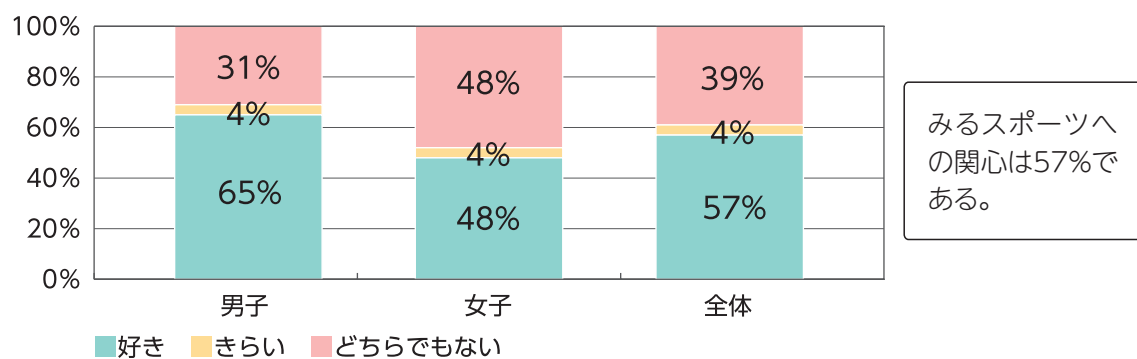


【スポーツ等へ不満理由 その他の意見】

- 時間が長い 2
- 苦手だから 自分ができてない 2
- すぐに息があがり苦しい きつい 2 など

■ スポーツを観ることが好きですか？

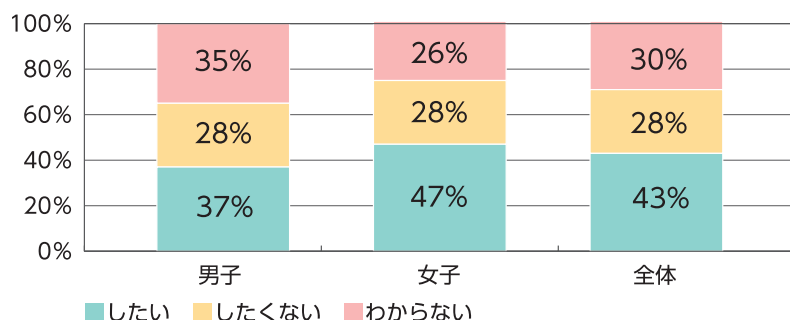
【図4-4】みるスポーツへの関心



スポーツや運動を実施していない子供の状況

■ スポーツや運動をしたいと思いますか？

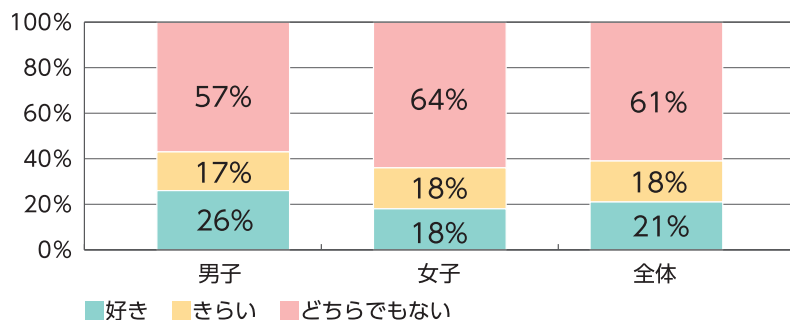
【図5-1】 スポーツ等への関心



スポーツや運動等を実施していない児童におけるスポーツ等への関心度は43%である。男女を比較すると、男子のほうが関心が低い。

■ スポーツを観ることが好きですか？

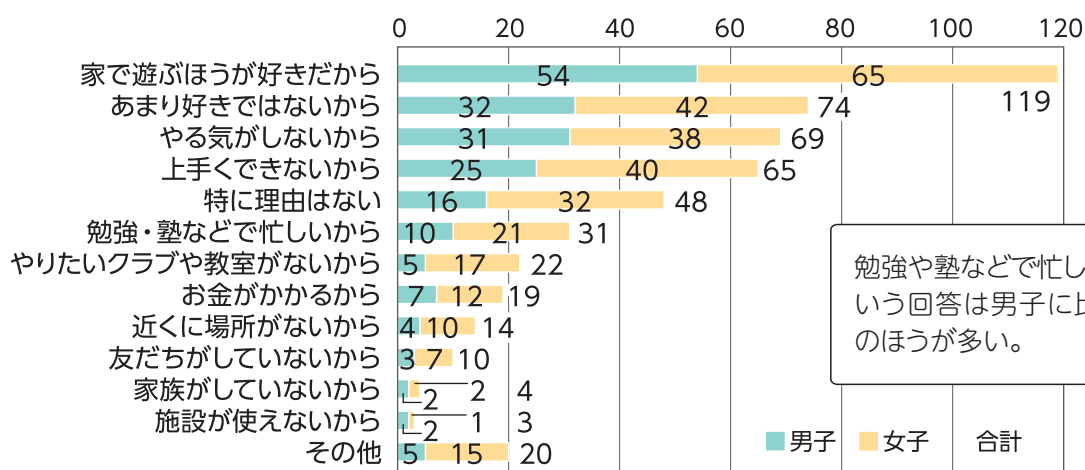
【図5-2】 みるスポーツへの関心



みるスポーツへの関心度は21%である。男女を比較すると、男子のほうが関心が高い。

■ スポーツや運動をしていない理由は何ですか？(複数回答・件数)

【図5-3】 スポーツ等を実施しない理由



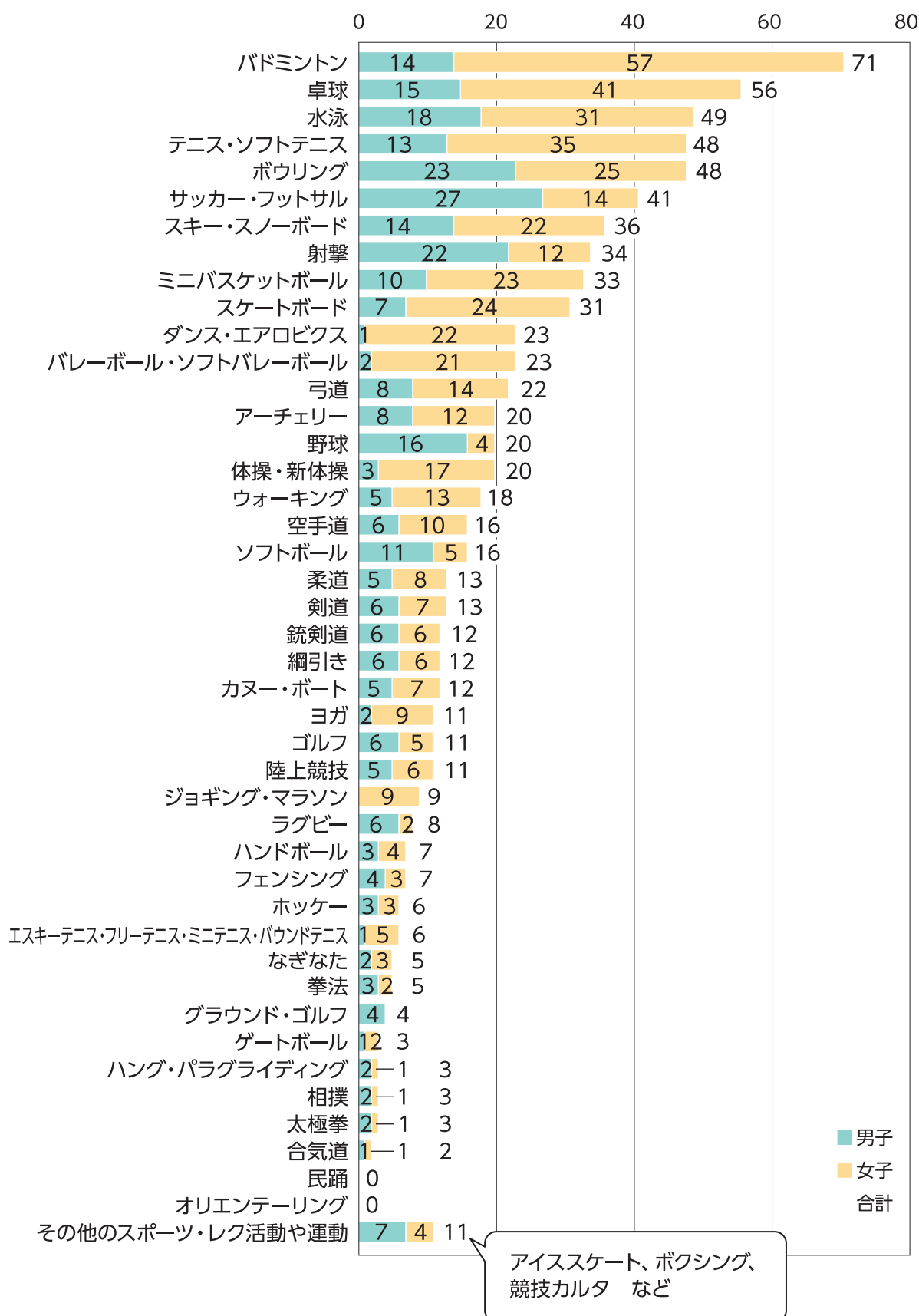
勉強や塾などで忙しいからという回答は男子に比べ女子のほうが多い。

【スポーツ等を実施しない理由 その他の意見】

疲れるから	4	する時間がない	2
コロナウイルス	3	親にダメと言われるから	2
ケガをしているから	2	他のことで遊んでるから	ゲームするから…2 など

■ もしもスポーツや運動をしたら、どのような種目をしてみたいですか？(複数回答)

【図5-4】 やりたいスポーツや運動



「スポーツ・レクリエーション活動や運動に関する市民アンケート」(中学生)集計結果

1 アンケート調査の概要

本市のスポーツ振興の基本理念や目的を明確にし、本市の特色を生かしたスポーツ振興施策を推進するために、中学生の日常生活におけるスポーツ・レクリエーション活動や運動の実態について、アンケート調査を実施しました。

(1) アンケート実施概要

- (ア) 調査地域 岩国市全域(岩国市立中学校(14校))
- (イ) 調査対象者 中学校 第2学年生徒
- (ウ) 調査方法 各学校長へ依頼し実施
- (エ) 調査期間 令和4年1月～2月
- (オ) 回収方法 学校より送付

全体に対する割合を算出する際、少数点以下を四捨五入しているため、個々のパーセント値を合計しても調度100%にならない場合があります。

(2) 実施状況

- (ア) 配布件数 1,031件
- (イ) 回収件数 892件
- (ウ) 回収率 86.52%

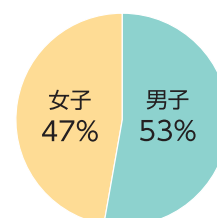
(3) 回答者の状況

- (ア) 男女別件数

男女別	人数
男子	466
女子	414
合計	880

(男女不明11件)

【図1-1】男女別割合

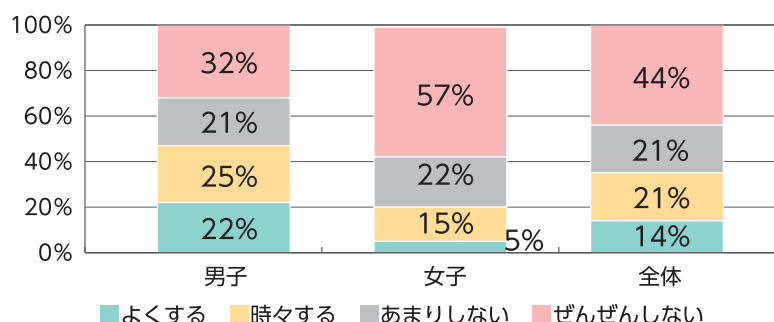


2 アンケート調査の結果内容

子供の生活の状況

■ 学校での自由時間にスポーツや運動をしていますか？

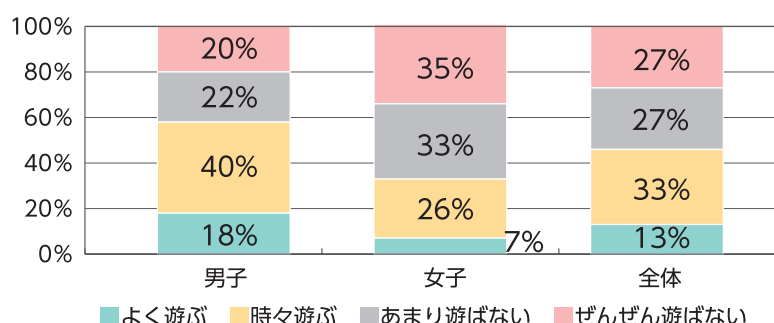
【図2-1】子供たちの生活状況



自由時間における女子の運動実施率が20%と低い。男子の実施率も50%をきっている。小学校に比べ、自由時間が短いことが要因の一つと考えられる。

■ 学校から家に帰って、外で遊ぶことがありますか？

【図2-2】帰宅後の外遊び

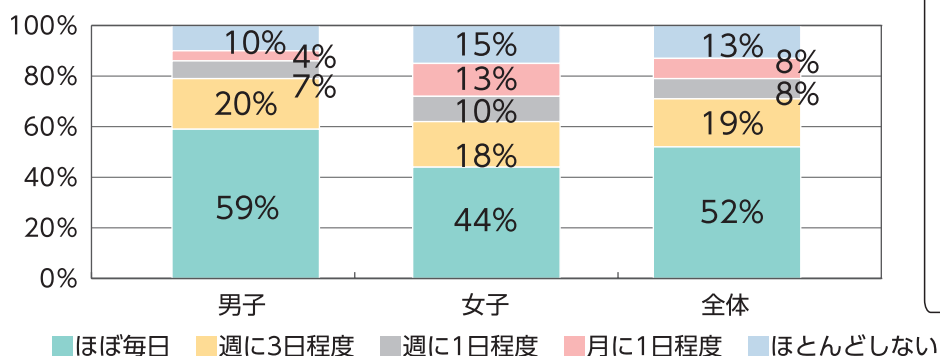


帰宅後の外遊びについても、(図2-1)と同様に女子の実施率が低い。小学生に比べて実施率が低い要因の一つに、部活動が日没時刻まで行われており、ほとんどの生徒が部活動に所属していることが考えられる。

子供のスポーツや運動の状況

■ 学校の自由時間や体育の授業以外でスポーツや運動をどのくらいしていますか？

【図3-1】スポーツ実施状況

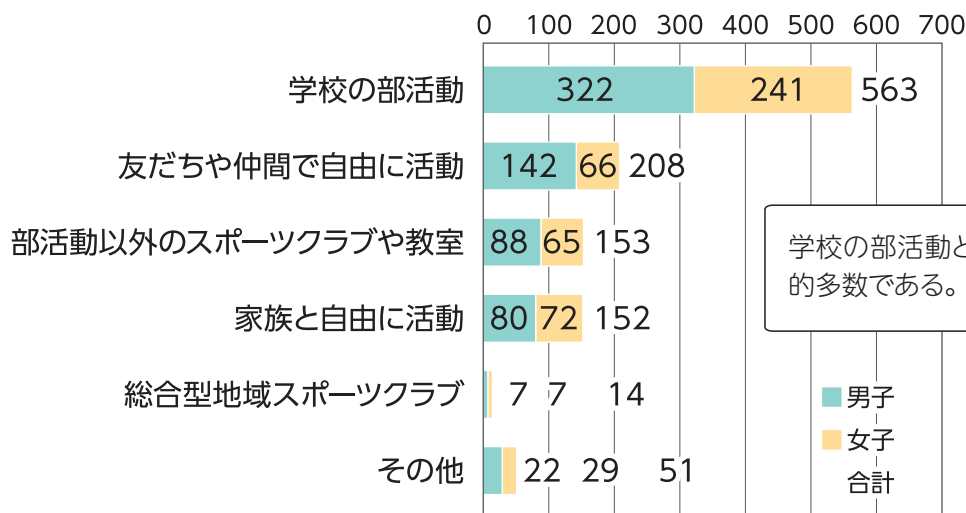


運動等の実施率は79%となっている。特にほぼ毎日実施が52%と高く、部活動への参加が反映されていると考えられる。男子に比べ女子の実施率が低く、特に月1回程度とほとんどしないをあわせると28%になる。

スポーツや運動を実施してる子供の状況

■ どのようなかたちでスポーツや運動を行っていますか？

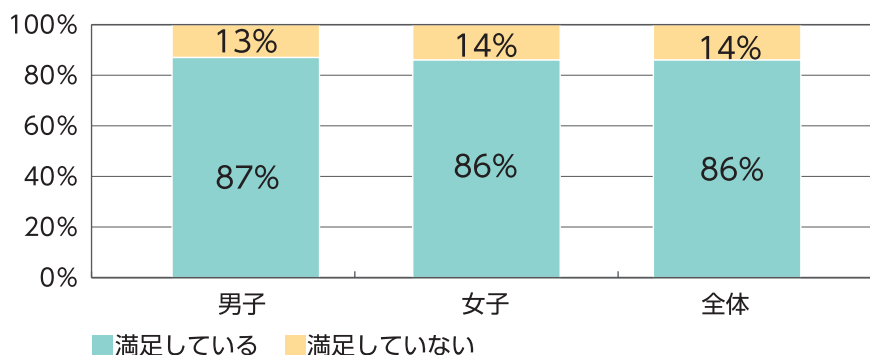
【図4-1】スポーツ等実施形態



学校の部活動という回答が圧倒的多数である。

■ スポーツや運動をすることに満足していますか？

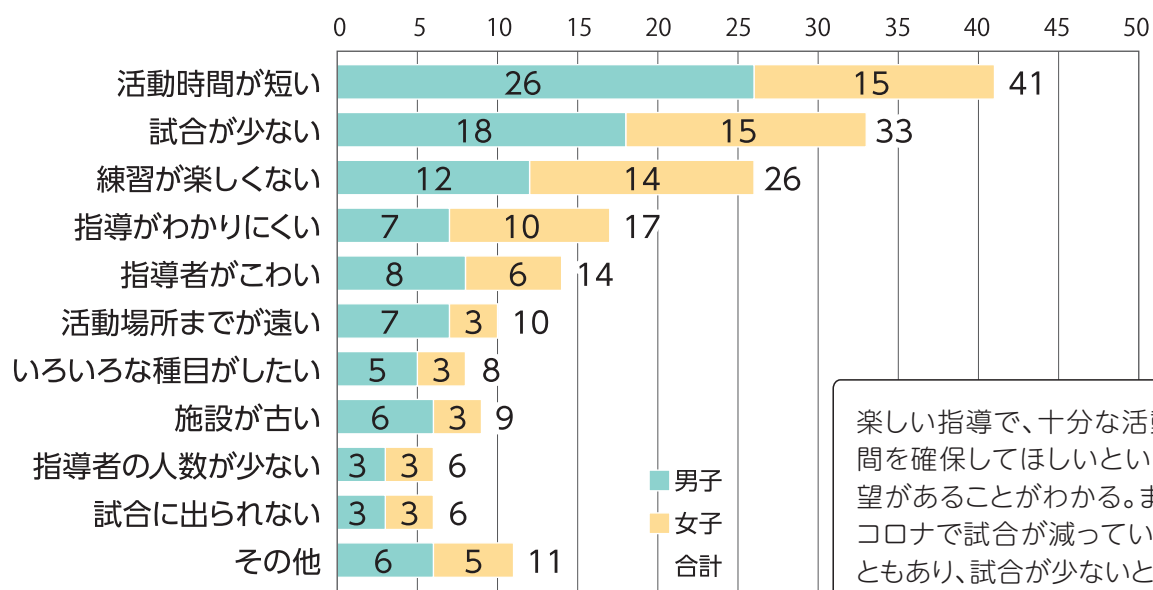
【図4-2】スポーツ等への満足度



スポーツや運動等の実施者における満足度は86%と高い。

■ 満足していない主な理由を3つ以内で選んでください。

【図4-3】スポーツ等へ不満理由（複数回答）



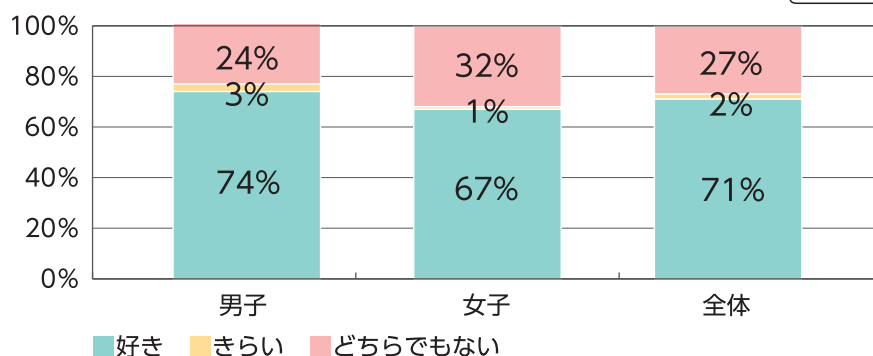
楽しい指導で、十分な活動時間を確保してほしいという希望があることがわかる。また、コロナで試合が減っていることもあり、試合が少ないという意見も多い。

【スポーツ等へ不満理由 その他の意見】

- 外に出たくない 家にいたい …………… 2
- 近所の迷惑になるから 公園がボール禁止 … 2
- コロナの影響でできないから …………… 2 など

■ スポーツを観ることが好きですか？

【図4-4】みるスポーツへの関心

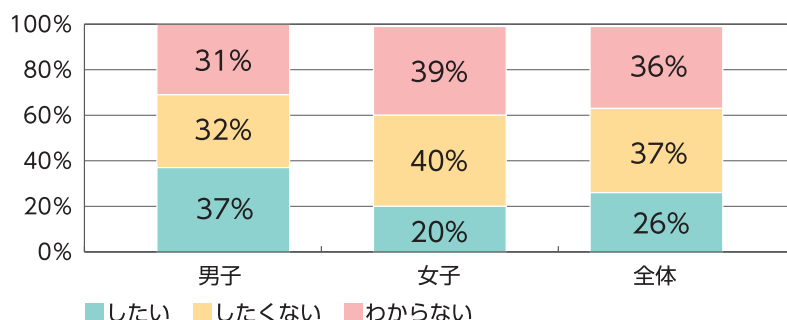


みるスポーツへの関心は71%と高い。

スポーツや運動を実施していない子供の状況

■ スポーツや運動をしたいと思いますか？

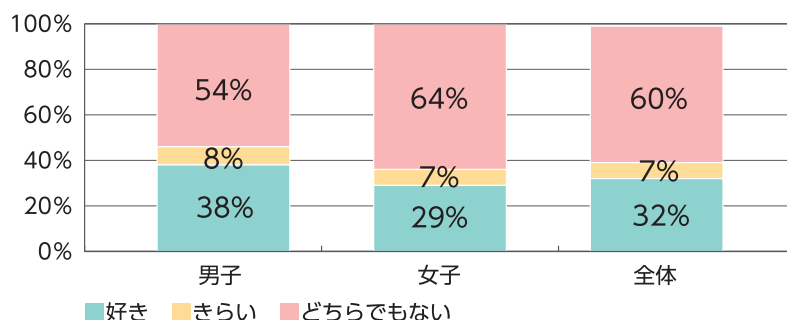
【図5-1】スポーツ等への関心



スポーツや運動等を実施していない生徒のスポーツ等への関心度は26%である。
男女を比較すると、男子のほうが関心が高い。

■ スポーツを観ることが好きですか？

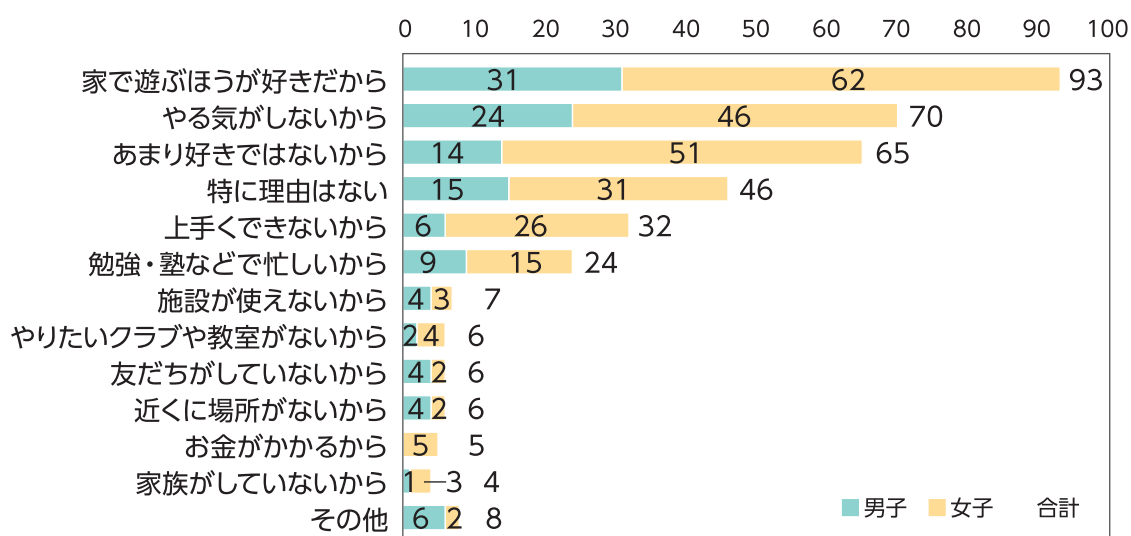
【図5-2】みるスポーツへの関心



みるスポーツへの関心度は32%である。
男女を比較すると、男子のほうが関心が高い。

■ スポーツや運動をしていない理由は何ですか？(複数回答・件数)

【図5-3】スポーツ等を実施しない理由

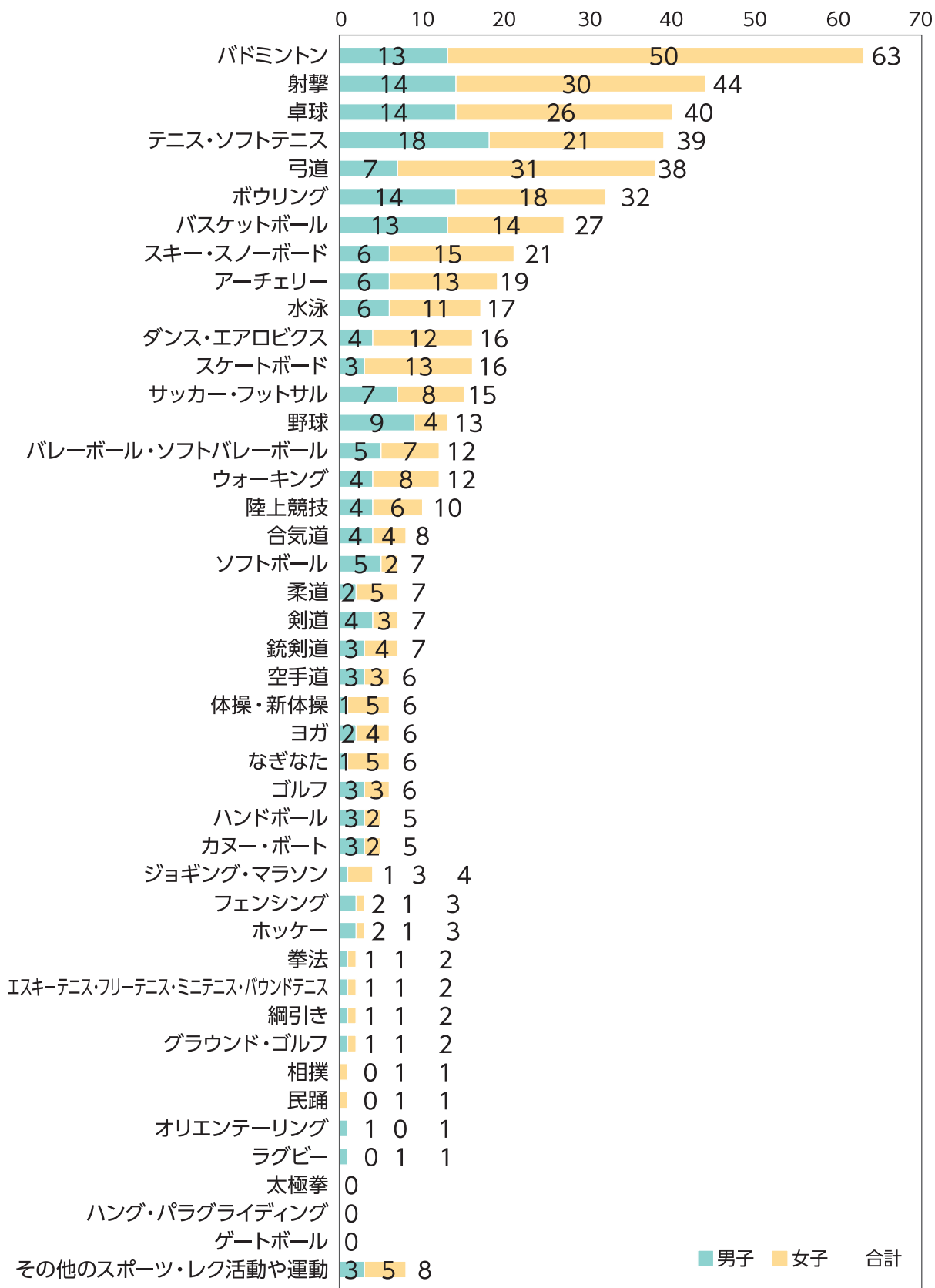


【スポーツ等を実施しない理由 その他の意見】

コロナの影響 3
 趣味に時間を使いたいから 3
 時間がないから 2
 自由な時は何もしたくないから 2 など

■ もしもスポーツや運動をしたら、どのような種目をしてみたいですか?(複数回答)

【図5-4】 やりたいスポーツや運動



第2次岩国市スポーツ推進計画

令和5年3月

岩国市 市民生活部 文化スポーツ課

〒740-8585 岩国市今津町一丁目14番51号

TEL:0827-29-5103 FAX:0827-21-3456

E-mail : bunkasports@city.iwakuni.lg.jp